

Joie™

ECE R129/03 適合
【後ろ向き使用時】
適応身長 40cm-105cm
適応体重 2.5kg-18.5kg まで
【前向き使用時】
適応身長 76cm-125cm
適応体重 25kg まで

ジョイー・チャイルドシート

i-Spin™ Multiway

アイスピンのマルチウェイ

取扱説明書 / 保証書



LEDインジケーター付き

単四乾電池2本（別売）が必要です。

本製品には付属していません。

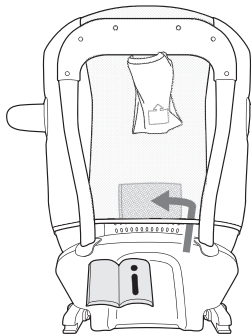


JP Welcome to Joie™

ジョイー・チャイルドシートをお求めいただき、誠にありがとうございます。本製品は、自動車の座席に取り付けて使用するチャイルドシートです。

本製品は、ECE R129/03 基準に適合するチャイルドシートですが、使用方法を誤ると、所定の安全性能を発揮できないばかりか、お子さまのみならず他の乗員の方や保護者の方の安全にも重大な影響をおよぼすおそれがあります。

安全に本製品をご使用いただくため、あらかじめ本取扱説明書を熟読し、内容を十分にご理解した上で本製品をご使用ください。本取扱説明書は、本製品（シェル）背面の取扱説明書ホルダーに大切に保管し、必要なときにいつでも取り出して参照できるようにしておいてください。



背面のメッシュ生地の内側
袋状の部分に収納します

もくじ

はじめにお読みください	4	お子さまの乗せかた	74
ユーザー登録のお願い	4	お手入れのしかた	81
正しい使用	4	カバーの取り外し	81
チャイルドシートについて	5	カバーの取り付け	88
使用に関するアドバイス	5	カバー類・インファントインサートのお手入れ	89
適合する自動車の座席について	5	本体（ベース・シート）のお手入れ	91
本製品の情報	6	抗菌・抗ウイルス製品の使用に あたっての注意	92
緊急時の対応	6	保管のしかた	93
表記の説明	7	廃棄のしかた	93
内容物の確認	8	保証書	94
各部の名称	9		
使用できるお子さまの条件	10		
自動車の座席に関して	13		
使用可能な座席の位置と向き	13		
シートベルトの使用	14		
使用できない座席	14		
使用上の注意事項	17		
LED インジケーター	27		
使いかた	29		
サイドインパクトプロテクションの使いかた	29		
バックルの使いかた	31		
インファントインサートの使いかた	32		
肩ベルト（ハーネス）の長さ調節	35		
リクライニングの使いかた	37		
ヘッドサポート・肩ベルトの高さ調節	38		
シートの回転	39		
本製品の取り付け	41		
本製品の取り外し	51		
ベビーモード・トドラーモードの使用法	55		
肩ベルト（ハーネス）の高さの調節	56		
お子さまの乗せかた	57		
ブースターモードでの使用法	64		
ブースターモードへの切り替え	64		
肩ベルト（シートベルト）の高さの調節	73		

はじめにお読みください

本製品は、ECE R129/03 基準に適合する、i-Size 強化型チャイルドシートです。本製品を使用するには、本製品を使用するモード（シールの向き）によって、それぞれお子さまが下記の条件を満たしている必要があります。

【後ろ向き使用時（ベビーモード）】

身長 40cm~105cm まで / 体重 2.5kg^{*}~ 18.5kg

【前向き使用時（トドラーモード / ジュニアモード）】

身長 76cm~125cm まで / 最大 25kg まで

使用するモードにより、使用可能なお子さまの範囲が異なりますので、ご注意ください。

※在胎週数 37 週以上かつ出生時体重 2.5kg 以上のお子さまにご使用いただけます。

ユーザー登録のお願い

チャイルドシートをご使用いただくにあたって、国土交通省推奨によるユーザー登録へのご協力をお願いいたします。本製品は、日本国内で使用を認められているチャイルドシート基準である ECE 基準に適合しています。本製品は、当該基準に適合するよう万全の注意をもって製造されていますが、万が一基準に適合しない製品が発生し、かつその製品が出荷されてしまった場合、直ちにその製品を入手されたお客様にご連絡を差し上げ、対象となった製品を修理する必要があります。

このような場合に、迅速にお客様に情報をお伝えし適切に対応できるよう、お客様にはユーザー登録をお願いしています。

お預かりしたお客様の個人情報、弊社が管理し、お客様の承諾を得ない限り、この緊急の連絡の目的以外には利用いたしません。

正しい使用

本製品が、所定の安全性能を発揮するように、本書および本体の表記の指示に従って、正しく自動車の座席に取り付けて、正しい方法で使用してください。

チャイルドシートについて

本製品は、万が一の交通事故の際や自動車の急制動（急発進・急停止・急なハンドル操作など）によって生じる、お子さまへの負担や衝撃を軽減することを目的としているものであり、お子さまを交通事故や急制動により生じる負担や衝撃から無傷で守る事を保証する製品ではありません。

また、本製品を正しく使用しないと、交通事故や急制動時に本製品が所定の性能を発揮できないばかりか、本製品が動くなどして、お子さまの安全のみならず、他の同乗者の安全にも重大な影響をおよぼすおそれがあります。

本製品を使用するにあたっては、本取扱説明書の記載内容および本製品本体の表記、ならびにお使いになるお車の取扱説明書の指示を理解し、その内容に従って、常に正しくご使用ください。

また、どれほど短い距離、どれほど短時間のドライブであろうとも、本製品を常に正しくご使用いただくとともに慎重で安全な運転を心がけるようにしてください。

使用に関するアドバイス

お子さまのチャイルドシートの使用を習慣付けるようにしてください。また、大人の方も必ずシートベルトを着用するようにしてください。長距離を走る場合、最低でも1時間おきに休憩をとり、お子さまをシートから降ろしてあげるようにしてください。

本製品はお子さまの成長、発達、着衣の状態に応じて調節できる部位、部品があります。常にお子さまの体型や着衣の状態に応じて適切に調節するように心がけてください。

事故時や、緊急事態には、お子さまを直ちに応急処置し、医療機関にご相談ください。

適合する自動車の座席について

本製品は、ほとんどの自動車の座席で使用することができますが、すべての自動車、座席において使用できるとは限りません。

本書および自動車の取扱説明書を参照の上、確認してください。

以下のホームページに記載の適合車種一覧をご確認いただくか、本取扱説明書末尾に記載の弊社お客様サービスまでお問い合わせください。

なお、適合車種一覧は適宜更新しています。

カトージ ホームページ

katoji.co.jp

本製品の情報

ベビーモード/トドラーモード [ISOFIX 固定装置+トップテザー]

1. 本製品は、ECE R129/03 によって認証された i-Size エンハンスド・チャイルド・レストレイント・システム（チャイルドシート）です。自動車の取扱説明書において i-Size 対応と示された座席において使用することができます。ただし i-Size 対応と示されていない自動車や座席でも使用可能な場合がありますので、当社の適合車種一覧、自動車の取扱説明書をご確認ください。また、i-Size 対応の座席においても、本製品の使用において一定の条件や制限事項のある場合がありますので、あらかじめご了承ください。
2. 本製品の取り付け、使用に関して疑問がある場合は、お買い求めになった販売店または当社お客様サービスまでご連絡ください。

ジュニアモード

[自動車の3点式シートベルト+ ISOFIX 固定装置+トップテザー]

1. 本製品は、ECE R129/03 によって認証された i-Size ブースターシート・エンハンスド・チャイルド・レストレイント・システム（ブースターシート）です。主として、自動車の取扱説明書において i-Size 対応と示された座席において使用することができます。i-Size 対応と示されていない自動車や座席で使用可能な場合がありますので、当社の適合車種一覧、自動車の取扱説明書をご確認ください。また、i-Size 対応の座席においても、本製品の使用において一定の条件や制限事項のある場合がありますので、あらかじめご了承ください。
2. 本製品の取り付け、使用に関して疑問がある場合は、お買い求めになった販売店または当社お客様サービスまでご連絡ください。

原材料 : プラスチック/金属/縫製品

パテント No. : 特許出願中

緊急時の対応

交通事故などの緊急時には、本製品の使用モードに応じて、あわてず本製品のハーネスまたは自動車のシートベルトのバックルを操作して、ハーネスまたはシートベルトを外し、速やかにお子さまを自動車外に脱出させ、直ちに応急処置を行い、医師の診断を受けるようにしてください。




お子さまの脱出の際に、ハーネス、シートベルトに絡まないように注意してください。衝撃の影響などによってバックルが外れない場合は、市販のシートベルトカッターなどを使用してハーネスまたはシートベルトを切断して脱出させてください。

表記の説明



本取扱説明書では、本製品を使用するにあたって特にご注意・留意いただく事項を「危険」「警告」「注意」に区分し、強調して表記しています。

この表記に付随して記載されている内容を無視すると、本製品をご使用になるお子さまや保護者の方、また、周りにいる方や物品に損害をおよぼすおそれがありますので、必ずこれらの内容を十分に理解した上でご使用ください。


危険・警告・注意の表記について

表記	表記の内容
 危険	この表記に付随して記載されている内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。
 警告	この表記に付随して記載されている内容を守らなければ、死亡または重傷に至ることがあり得ることを示します。
 注意	この表記に付随して記載されている内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。

強調・禁止の表記について

表記	表記の内容
	この表記に付随して記載されている事柄は、正しい状態にあることを示します。
	この表記に付随して記載されている事柄は、誤った状態にあること、または禁止されていることを示します。

ポイントの表記について

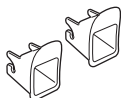
 ポイント!	この表記に付随して記載されている事柄は、本製品をご使用いただくにあたって知っておいて頂きたい重要な情報や、本製品をより便利にご使用いただくための情報です。
---	---

内容物の確認

本製品には、次のものが同梱されています。すべてのものが揃っていることを確認してください。万が一、足りないもの、破損しているものがある場合、そのままご使用にはならず、大変お手数ですが、巻末の保証書に記載のお客様サービスまでご連絡ください。



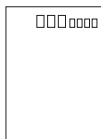
本体



ISO-FIX ガイド × 2



本書



ユーザー登録はがき



サイドインパクトプロテクション※

※ P29「サイドインパクトプロテクションの使いかた」を参照して本体に取り付けてください。本製品を取り付けた座席のドア側に取り付けます。

警告

窒息のおそれがあります

お子さまがかぶり窒息するなど重大な事故につながるおそれがありますので、本製品を梱包しているビニール袋類は開梱後、直ちに破るなどした上で、お子さまの手の届かないところに廃棄してください。

各部の名称

本製品の各部の名称

本取扱説明書においては、本製品の各部位、各部品について、次の通りの名称を用いています。本取扱説明書の記載内容の部位、部品に関して、必要に応じてご確認ください。



※LED インジケータ用のバッテリーボックスです
単4乾電池×2(別売)が必要です

- | | |
|------------------|-------------------|
| ①ヘッドサポート | ⑪腰ベルト (ハーネス) |
| ②インファントインサート | ⑫腰ベルトガイド(シートベルト用) |
| ③肩ベルトパッド | ⑬回転レバー |
| ④バックル/ハーネス | ⑭アジャストレバー |
| ⑤ベルトアジャスター | ⑮ヘッドサポートアジャストレバー |
| ⑥アジャストベルト | ⑯リバウンドバー |
| ⑦リクライニングレバー | ⑰肩ベルトガイド(シートベルト用) |
| ⑧ LED インジケータ | ⑱トップテザー(収納袋) |
| ⑨サイドインパクトプロテクション | ⑲リクライニングインジケータ |
| ⑩肩ベルト (ハーネス) | ⑳ ISOFIX コネクター |

自動車に関わる各部の名称

本取扱説明書においては、本製品を取り付ける自動車の座席の部位、部品に関して言及している箇所があります。本取扱説明書において、自動車の部位、部品については以下の通りの名称を用います。

1 (座席) 背もたれ

●シートベルト

2 シートタング

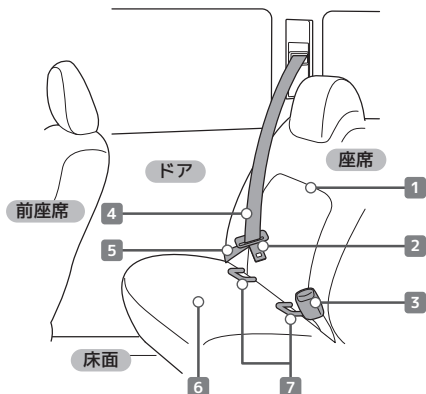
3 シートバックル

4 シート肩ベルト

5 シート腰ベルト

6 (座席) 座面

7 ISOFIX 固定装置



本製品では、トップテザーアンカーを使用します。トップテザーアンカーの位置は車種により場所が異なります。お車の取扱説明書をご覧になり、トップテザーアンカーの位置を確認しておいてください。

👉ポイント!

お車の取扱説明書（オーナーズマニュアル）においては、別の名称で記載されている場合があります。必要に応じて、上図を参照し、お車の取扱説明書の表記と照合するようにしてください。

使用できるお子さまの条件

本製品を使用できるお子さまの範囲と条件は、本製品の適合するチャイルドシートの基準（ECE R129/03）によって定められています。

使用するモードによって、それぞれ使用可能な範囲が異なります。

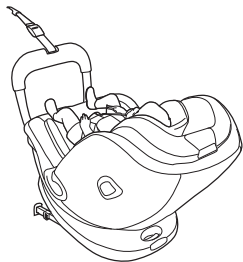
それぞれの範囲にあてはまらない、また、本取扱説明書に記載されている条件に適合しない場合は、本製品を使用しないでください。

⚠危険

条件に当てはまらない場合は使用しないこと

各モードで定められた使用可能な条件をお守りください。条件に満たない、または超えての使用は大変に危険です。

ベビーモード使用時（後ろ向き使用）



使用する向き
自動車の進行方向に対して後ろ向き
座席への取り付け方法
ISOFIX+トップテザー
お子さまの固定方法
本製品のハーネス
使用可能なリクライニング
1~6

使用可能なお子さまの条件

身長：40cmから105cmまで

体重：2.5kg^{※1}-18.5kg以下

目安年齢：およそ4歳頃まで使用可能^{※2}

※1 在胎週数 37 週以上かつ出生時体重 2.5kg 以上のお子さまにご使用いただけます。

※2 年齢は目安となります。使用の可否は、身長および体重で定められています。

トドラーモード使用時（前向き使用）



使用する向き
自動車の進行方向に対して前向き
座席への取り付け方法
ISOFIX+トップテザー
お子さまの固定方法
本製品のハーネス
使用可能なリクライニング
1~6

使用可能なお子さまの条件

身長：76cmから105cmまで

体重：18.5kg以下

開始月齢：生後15ヵ月以上になってから使用可能^{※1}

目安年齢：およそ4歳頃まで使用可能^{※2}

※1 開始月齢をお守りください。トドラーモードは生後 15 ヶ月以上から使用可能です。

※2 「目安年齢」は使用終期の目安となります。使用可能上限は、身長および体重で定められています。

ジュニアモード使用時（前向き使用）



使用する向き
自動車の進行方向に対して前向き
座席への取り付け方法
ISOFIX+トップテザー
お子さまの固定方法
自動車の3点式シートベルト
使用可能なリクライニング
1~6

使用可能なお子さまの条件

身長：100cmから125cmまで

体重：25kg以下

目安年齢：およそ3歳半頃から7歳頃まで使用可能*

※年齢は目安となります。使用の可否は、身長および体重で定められています。

⚠危険

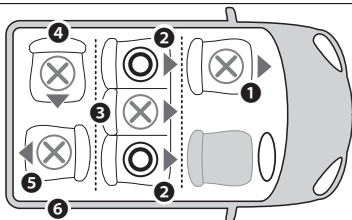
「使用する向き」を必ず守ること

本製品にはお子さまの乗せ降ろしをやすくするために、自動車の座席に取り付けた状態で、シートが回転する機能が採用されています。

ベビーモード時にシートを前向きにして使用したりジュニアモード時にシートを後ろ向きにしての使用は絶対にしないでください。

自動車の座席に関して

使用可能な座席の位置と向き



- | | |
|--------------------|----------------------|
| ① 助手席 | × 使用不可※ ¹ |
| ② 2 列目左右ドア側席 | ○ 使用可能※ ² |
| ③ 2 列目中央席 | × 使用不可 |
| ④ 進行方向に向かって横向きの座席 | × 使用不可 |
| ⑤ 進行方向に向かって後ろ向きの座席 | × 使用不可 |
| ⑥ 3 列目以降の左右座席 | ○ 使用可能※ ² |

※¹：使用できません。より安全な後部座席での使用をお勧めします

※²：ISOFIX 固定装置とトップテザーアンカーが装備された座席でのみ使用できます

自動車の取扱説明書において i-Size 対応と指定されている座席では、原則として使用が可能ですが、諸条件により使用を推奨しない場合があります、また i-Size 対応でない座席でも使用することができる場合があります。

本製品が使用できる車種、座席の情報に関しては、適合車種一覧で確認していただけます。

カトージ ホームページ
katoji.co.jp



使用の可否の条件を守ること

上記の座席すべてで使用可能とは限りません。

上記は、座席の位置と向きについて使用の可否を記載したものです。この位置と向きであり、かつその他の条件を満たした座席でのみ使用可能です。

シートベルトの使用

ジュニアモードでは、本製品を ISOFIX / トップテザーで固定して、お子さまは自動車の3点式シートベルトを装着して使用します。2点式シートベルトや5点式シートベルトの座席、シートベルトが装備されていない座席では使用することができません。

使用できない座席

本製品は、すべての自動車、すべての座席で使用できるものではありません。本製品を取り付けて使用できる自動車、座席の情報については、お車の取扱説明書と適合車種一覧を参照してください。

⚠危険

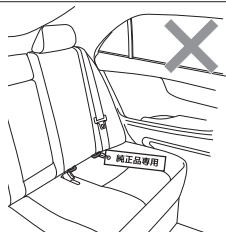
以下に示す座席では絶対に使用してはいけません。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

ISOFIX 固定装置の装備されていない座席

本製品は、自動車の ISOFIX 固定装置とトップテザーアンカーを使用します。これらを装備していない座席では使用できません。

仕様が異なる ISOFIX 固定装置の座席

ISOFIX 固定装置が装備されていても本製品が使用可能とは限りません。本製品の条件に適合する仕様の汎用 ISOFIX 固定装置が装備された座席でのみ取り付け可能です。ISOFIX の仕様については、自動車の取扱説明書をご参照ください。



助手席

当社では助手席での使用は推奨しておりません。事故や衝撃を受けた際にダッシュボードにぶつかったりするほか、運転に支障をおよぼすおそれもありますので、より安全な後部座席に取り付けて使用してください。

適合車種一覧で取り付け不可、使用不可となっている車種または座席

本製品の適合車種一覧で、取り付け不可、使用不可となっている車種または特定の座席では使用できません。また、車種が適合していても、すべての座席で取り付け、使用可能とは限りません。ご購入前、ご使用前に適合車種一覧をご確認ください。

⚠危険

以下に示す座席では絶対に使用してはいけません。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

フロントエアバッグを装備している座席

フロントエアバッグが作動すると、重大な事故につながるおそれがあります。フロントエアバッグを装備している座席では使用しないでください。特に後ろ向きでの使用時には、チャイルドシートが急激に押し出されるため非常に危険です。



本製品を安定して設置できない座席

極端な凸凹がある座席、幅や奥行きが極端に狭い座席、極端に傾斜した座席、本製品を取り付けるとドアやコンソールなど座席以外の構造物に本製品が接触する座席、可動操作に干渉する座席では、本製品が安定しないため取り付けることができません。また、適合車種でも、限定モデルや中古車の場合には、特殊な座席が付いていたり、座席そのものが交換されている場合もあります。これらの場合、適合車種一覧での取り付け可否に関わらず、本製品を安定して設置できないこともあります。



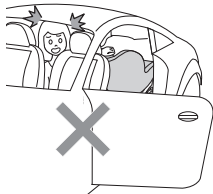
本製品の取り付けにより、自動車の重要な操作に支障をきたす座席

本製品を取り付けることにより自動車の操作に影響をおよぼさない事をあらかじめ確認した上で、取り付け、使用してください。非常時や緊急時も想定してあらゆる操作に影響しないことを確認してください。

乗員の脱出に影響を与える座席

片開きドアのワンボックスカーのドア側の座席など、本製品を使用することにより、他の乗員が緊急時に自動車から脱出しにくくなるおそれがある座席では使用しないでください。

実際に本製品を使用する前に緊急時を想定して、使用しようとする座席の上に本製品を置き、その状態で、すべての座席から他の乗員が容易に乗降できるかどうか、また、緊急時にお子さまを迅速に脱出させることができるかを、あらかじめ確認してください。



角度が異常になる座席や、座席やドアに干渉する座席

本製品取り付け時に本製品の角度が異常になる座席や、可動式の座席で動かし際に本製品に干渉する座席、自動車のドアの開閉時に干渉する座席では使用しないでください。

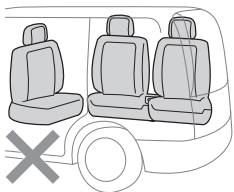
⚠危険

以下に示す座席では絶対に使用してはいけません。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

進行方向に対して前向き以外の座席

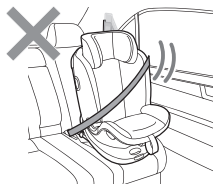
本製品は、車の進行方向に向かって前向きの座席にのみ取り付け使用することができます。車の進行方向に向かって後ろ向きや横向きの座席では使用できません。

また、車の進行方向に向かって前向きでも、補助席などの特別な座席、バス、電車、飛行機、船などの座席では取り付け使用できません。



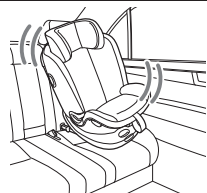
パッシブシートベルトが装備された座席

ドアを閉めると自動的にシートベルトが装着される、パッシブシートベルトが装備された座席では、本製品を使用できません。



その他、しっかりと取り付けられない座席や、取り付け作業中に安定しない座席

取扱説明書に従っても、しっかりと固定できない、安定しない、本製品の角度等に異常がある、トップテザーが固定できない、座面の形状が変化する座席など、正常に安定して取り付けや使用ができない座席では、使用しないでください。



本製品の取り付け操作中に移動する座席

本製品の取り付け操作中に移動する座席には取り付けないでください。

自動車のドアの開閉操作や可動式座席の操作に干渉しないように取り付けること

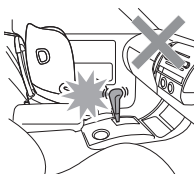
本製品を、ドアや可動式座席の動きに干渉する座席に取り付けると、自動車の操作に影響を与えるだけでなく、本製品の破損や、本製品の正しい取り付け状態に影響をおよぼすおそれがあります。

⚠危険

以下に示す座席では絶対に使用してはいけません。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

本製品を使用することによって運転、操作に支障をきたす座席

本製品を使用すると、ドアミラーが見えにくくなる、サイドブレーキやシフトレバー、ハンドル、ウインカーなどの操作に影響を与え、自動車の安全な運転に支障をきたすおそれのある座席では使用できません。本製品は後部座席で取り付け、使用してください。



使用上の注意事項

本製品の誤った使用は、所定の機能を発揮できないばかりか、お子さまのみならず他の乗員の方にも思わぬ危険をおよぼすおそれがあります。

ここでは、本製品をお使いいただくにあたって、注意していただきたい重要な事柄や、「してはならない」重要な禁止事項について説明しています。

⚠危険

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

使用条件を厳守すること

本製品は、適合する基準によって使用できるお子さまの条件が定められています。この使用条件を守らないと、本製品が所定の安全性能を発揮できず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

ベビーモード、トドラーモード、ジュニアモードそれぞれに使用できるお子さまの条件が定められています。本製品は、それぞれの条件に適合した状態でのみ使用することができます。



⚠危険

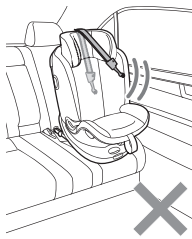
以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

正しく自動車の座席に固定して適切に使用すること

本製品を適切な状態で使用しないと、急カーブ、急停止、衝突などの衝撃を受けた際に思わぬ事故につながるおそれがあります。

本取扱説明書および本製品の本体に記載されている指示、ならびに本製品を取り付ける自動車の取扱説明書の指示に従って、正しく自動車の座席に固定し、使用してください。

ISOFIX コネクターを正しく固定して、使用するモードに応じて、本製品のトップテザーやハーネス、また自動車の3点式シートベルトを正しく調節して、お子さまを適切に固定した状態でご使用ください。



本製品の取り付け、設置場所に注意すること

取り付け、設置する場所によっては、お子さまが可動式の座席や自動車のドアに挟まれ、思わぬ事故につながるおそれがあります。あらかじめ安全を確認した上で取り付け、使用してください。

取扱説明書および本製品に記載の指示に従うこと

本書の指示にない使いかたはしないでください。本書および製品本体に記載する方法以外での取り付け、使用はしないでください。

本製品は取扱説明書および自動車の取扱説明書の内容を理解した大人の方が操作すること

本製品を誤った状態で使用すると、お子さまばかりか、他の乗員の方にも危険がおよぶおそれがあります。たとえ使用方法を理解していたとしてもお子さまに操作をさせないでください。

取扱説明書は本製品と分離して保管しないこと

第三者に本製品を使用させる場合にも、本書を必ず参照させて本製品を正しく使用できるようにしておくこと。本書は、常に本製品背面の取扱説明書ホルダーに入れて保管してください。

短距離、短時間の移動でも本製品を使用すること

多くの事故は、短距離、短時間の移動の際に発生しています。たとえ短い距離の移動でも、お車を使用する場合は、お子さまの安全のため本製品を正しく使用してください。

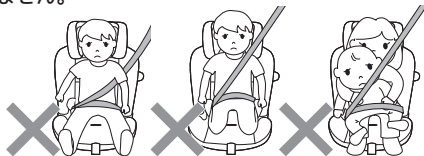
以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

体型が合わない場合は使用しないこと

「使用できるお子さまの条件」の規定の範囲内でも、お子さまが成長し、本製品に正しくお子さまを乗せると自動車のシートベルトを正しく装着できなくなった場合には、所定の安全性能を発揮できませんので、本製品を使用しないでください。

お子さまを正しく座らせて使用すること

本取扱説明書の記載に従い、本製品を正しく調節して、正しくお子さまを座らせて使用してください。シートベルトを間違えて使用したり、お子さまを立たせたり、正座、中腰の体勢で使用したり、複数のお子さまを座らせたりしてはいけません。



指定する方法以外で使用しないこと

本製品の固定やお子さまの固定のために、ひもや、帯状のもの、布、梱包用ベルト、テープなどを使用してはいけません。また、ハーネスまたはシートベルトを装着した上に、これらのもので補強してもいけません。ハーネス、シートベルトが正しく使用されていても、これらのものが、お子さまの首や身体に引っかかったり、ハーネスやシートベルトに干渉するなどして重大な事故につながるおそれがあります。



シートベルト（シートバックル・シートタンク）に損傷がある場合は使用しないこと

交通事故や急制動の際にシートベルトが切断したりシートバックルが外れたりして、重大な事故につながるおそれがあります。

また、ベビーモード、トドラーモードで使用する場合も同様に、本製品のハーネスやバックルに損傷がある場合には使用しないでください。



⚠危険

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

お子さまを自動車内に放置しないこと

本製品の使用の有無に関わらず、いかなる場合でも、どれだけ短い時間でも、お子さまを自動車の中に放置してはいけません。日差しにより自動車内の温度が高くなり、熱中症・脱水症状になるおそれがあります。また、誤って自動車の操作をしたりシートベルトに絡まるなどして、重大な事故につながるおそれがあります。



正しくハーネスやシートベルトを装着すること

ハーネスやシートベルトをねじらないこと

お子さまが装着するハーネスやシートベルトにねじれがあると、本製品が安全に機能しません。本製品を正しく調節して、ハーネスやシートベルトにねじれがないことを確認してしっかりと締め付け、いずれの場合もしっかりとバックルを留めて正しく使用してください。



ハーネスやシートベルトを含む、本製品の使用や取り付けに関わるベルト類は、ねじれやゆるみのないようすること

ハーネス、シートベルト、トップテザーベルトにゆるみやねじれがないようにして本製品をご使用ください。

ハーネス、シートベルトの腰ベルトはお子さまの骨盤の上を通すこと

事故や衝撃を受けた際に、骨盤でしっかりと受け止めるため、ハーネス、シートベルトの腰ベルトはお子さまの骨盤の上を通して適切に締め付けるようにしてください。骨盤の上を通っていないと、内蔵の損傷や骨折に至る危険性が高まります。



EPP / EPS フォーム（白い衝撃緩衝材）を取り外さないでください。本製品の内部に取付けられている EPP / EPS フォームは、本製品の安全性に関わる重要な部品です。絶対に取り外さないでください。

生後 15 ヶ月までは後ろ向きでのみ使用可能

お子さまが生後 15 ヶ月以上になるまでは、ベビーモードで使用してください。シートを前向きにして（トドラーモード / ジュニアモード）使用しないでください。

⚠危険

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

お子さまの身長が 100cm を超えるまでは、絶対にジュニアモードで使用しないこと（ベビーモード・トドラーモードで使用すること）

100cm 以下のお子さまがジュニアモードで使用すると、事故や衝撃を受けた際に、お子さまが本製品から飛び出したり、過剰な負担が掛かるなどして重大な事故に繋がるおそれがあります。

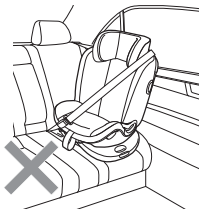
身長が 105cm を超えたらジュニアモードで前向きにして使用すること

事故や衝撃を受けた際に、お子さまに過剰な負担が掛かり重大な事故につながるおそれがあります。お子さまの身長が 105cm を超えたら、ジュニアモードに切り替えて使用してください。ベビーモード、トドラーモードでは使用できません。

後ろ向きまたは前向き以外にして使用しないこと

本製品は使用するモードにより自動車の進行方向に向かって後ろ向きまたは前向きにして使用します。横向きや斜めを向いた状態では使用できません。

本製品は、お子さまの乗り降りをしやすくするためにシートを回転させることができますが、乗降時以外は、使用するモードに応じて、シートを後ろ向きまたは前向きで確実に固定してください。



カバー類を取り外して使用しないこと

カバー類を取り外して使用すると、本製品が所定の安全性能を発揮できません。本取扱説明書で別段の指示がない限り、本製品の部品を取り外した状態で使用しないでください。カバー類、ウレタンも安全に関わる重要な部品です。決して取り外して使用しないでください。また同様に、本製品に縫い付け、または貼られているラベルやシールも本製品の適合する安全基準で規定されている重要な部品ですので、決してはがさないでください。

本製品に破損や異常がある場合や部品が欠落している場合、部品を取り外した状態では使用しないこと

交通事故や急制動の際に本製品が所定の安全性能を発揮できないおそれがあり、また本製品の破損部により思わぬ事故につながるおそれがあります。

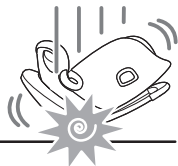


警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

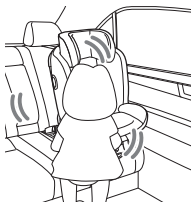
強い衝撃を受けた場合、損傷した場合、部品が欠落した場合は使用を中止すること

交通事故にあった、落下させた、車のドアで強くはさんだなど、一度でも強い衝撃を受けた場合は絶対に使用しないでください。また、本製品の部品が欠落したり紛失した場合も使用してはいけません。目には見えない損傷や部品の欠落の影響によって本製品が安全に機能なくなっている可能性があります。このような場合は、保証の対象外となり、また安全性が担保できないため、修理もできませんので、新しい製品をご購入いただく必要があります。



走行前には本製品の状態を確認すること

お子さまや他の乗員などが、本製品に触れたり操作したりするなどして、本製品の状態が変化しているおそれがあります。走行前には、毎回本製品が適切な状態にあるかどうか必ず確認してください。製品を誤った状態で使用すると、お子さまばかりか、他の乗員の方にも危険がおよぶおそれがあります。



使用しない場合でも、車室内では本製品を必ず固定しておくこと

お子さまを乗せて使用しない場合でも、自動車に本製品を乗せる際には、ISOFIX 固定装置およびトップテザーで自動車の座席に固定してください。正しく固定されていないと、交通事故や急制動の際に本製品が移動し、運転操作の邪魔になったり、他の同乗者にあたるなどして、重大な事故につながるおそれがあります。



本製品の下にクッションや敷物などを敷かないこと

本製品と座席の間に、座布団やクッションなどの敷物を置かないでください。本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。

本製品を正しく使用することにより、自動車の座席にくぼみや傷が生じる可能性があります、あらかじめご了承ください。



警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

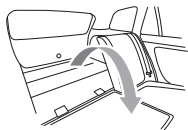
走行中は、本製品を操作しないこと

自動車の走行中は、本製品を操作してはいけません。お子さまの状態の確認でも、走行中には操作しないでください。走行中に異常を発見したり、お子さまの状態に不安が生じたりした際は、速やかに自動車を安全な場所に停めてから、確認、操作を行ってください。



可倒式座席の場合、確実に背もたれを固定すること

自動車の可倒式座席（トランクスペースを広く使えるよう、座席の背もたれを前に倒すことができる座席/トランクスルー）で本製品を使用する場合、背もたれを確実に立てて固定してください。背もたれが確実に固定されていないと、使用中に突然背もたれが倒れ、思わぬ事故につながるおそれがあります。



バックルが正しく留まっているか適宜確認すること

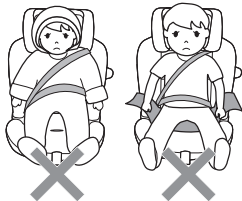
お子さまがバックルに触れると、バックルが解離してシートベルトが外れるおそれがあります。お子さまには、ベビーモード、トドラーモードの場合は本製品のバックルに、またジュニアモードの場合にはシートバックルに、それぞれ触れないように言い聞かせ、適宜バックルが正しく留まっていることを確認してください。



不適切な着衣で使用しないこと

お子さまを正しく固定できず、お子さまが落下したり、飛び出したりするおそれがあります。ケープや毛布など衣服ではないもの、また、おくるみなど、腕や足が出ない（ハーネスやシートベルトを正しく装着できない）構造の衣服、サイズの大きすぎる衣服などを着せて本製品を使用しないでください。また、ダウンジャケットなど、厚着をしている場合には、お子さまが確実にハーネスやシートベルトを装着できるよう、本製品を正しく調節してください。

また、事故や衝撃を受けた際に、お子さまが滑りやすくなりますので、毛布や座布団などの敷物をお子さまの下に敷かないでください。

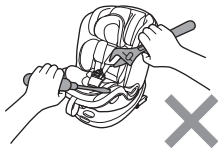


警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

本製品を分解したり改造したり、指定外の部品を取り付けて使用しないこと

本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。本製品の分解、改造をしてはいけません。また、指定外の部品への交換、他社製の部品や製品を追加して取り付けて使用しないでください。型式承認機関の承認を得ずに、本製品を改造、改善、修繕を行うことは禁止されています。



本書の指示にない荷重支持接点を使用しないこと

本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。本書、本製品本体で指示されている荷重支持接点以外を使用しないでください。

指定外のアクセサリを追加して使用しないこと

本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。チャイルドシート用、ジュニアシート用とされていても、当社指定外の市販のマットやソフトクッションなどを本製品に追加して使用しないでください。

過度の負担を掛けないこと

本製品が損傷し、所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがありますので、本製品に重いものを載せたり、自動車のドアや自動車の座席のリクライニングで強くはさむなどしたりしないでください。本製品に強い衝撃が加わったり損傷した場合、本製品を使用してはいけません。



中古品や劣化した本製品を使用しないこと

中古品は過去の履歴や保管状況や使用状況が不明なため、また劣化した本製品は強度等が劣る可能性があり、本製品が安全に機能しないおそれがありますので使用しないでください。安全のため、使用しなくなった本製品は、再利用されないよう配慮いただき、廃棄するようお願いいたします。



目的外で本製品を使用しないこと

本製品は、チャイルドシート、ジュニアシートとしてのみ使用することができます。椅子やベッド、ベビーキャリーとして使用するなど、本来の目的以外で使用すると、お子さまが落下するなどして重大な事故につながるおそれがあります。

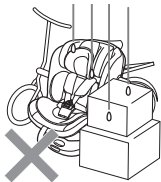


⚠警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

不適切な保管をしないこと

部品の劣化が早まったり、変質するなどして本製品が正常に機能しなくなるおそれがありますので、風雨にさらされる露天、直射日光のあたる場所、極端に暑くなる場所、湿気の多い場所、ホコリの多い場所などで保管しないでください。また、このような状態で長期間保管した本製品を使用してはいけません。



⚠注意

以下に記載する内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。

部品の過熱に注意すること

ヤケドを負うおそれがありますので、本製品の金属部品や樹脂部品が、日光により過度に加熱していないか確認してから、お子さまを乗せてください。また、本製品を操作する方も、温度を確認してから操作するようにしてください。野外に駐車する際には、日陰に駐車したり本製品に覆いをしたりするなどして加熱を防ぐようにしてください。



車室内にある動くものは固定しておくこと

急制動などの際に、本製品を使用しているお子さまのみならず、他の同乗者にあたるなどしてケガを負うおそれがありますので、車室内にある動く物品は適切に固定するようにしてください。



長時間連続して使用しないこと

お子さま、特に新生児期のお子さまを長時間にわたり同じ姿勢で固定すると、ストレス、疲労をあたえる可能性があります。より快適にご使用いただくため、適宜お子さまを本製品から降ろして自由に動けるようにしてあげてください。また、運転の安全のためにもなりますので、最低でも1時間に1度は休憩をとるようにしてください。

長期間使用しない場合は、本製品を自動車から取り出すこと

自動車内の環境により、樹脂部品などの劣化が進むおそれがあります。

⚠注意

以下に記載する内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。

適切な方法でお手入れすること

チャイルドシートが安全に機能しなくなるおそれがありますので、お手入れやメンテナンスの際に潤滑油を使用してはいけません（特に可動部、接合部）。本製品のお手入れは、本取扱説明書の指示に従っておこなうようにしてください。



販売店、チャイルドシートメーカーにお問い合わせください

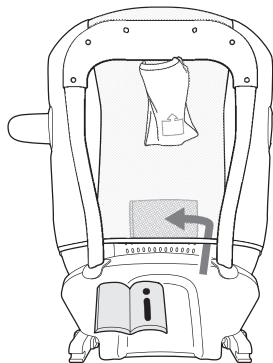
補修やお手入れ、メンテナンスについて疑問がある場合は、本製品をお買い求めになった販売店または巻末に記載のお客様サービスにお問い合わせください。

トランクでの保管に注意すること

本製品の破損につながるおそれがあります。本製品を自動車のトランクに入れて保管する場合、上に他の物を載せないようにしてください。

本書は本製品の所定の場所に収納して常時携帯すること

必要なときにいつでも参照できるように本書はシート背面のカバー（メッシュ部分）の内側にある、同じくメッシュ生地の袋状の部分に入れておいてください。袋状の部分は、メッシュ生地内に折り込んでおいてください。



背面のメッシュ生地の内側
袋状の部分に収納します

重要

LED インジケーター

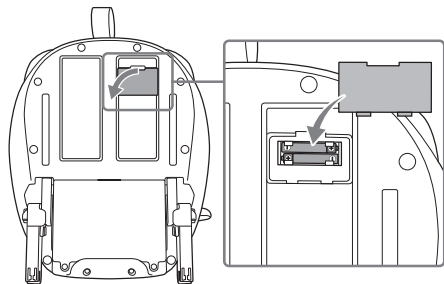
本製品には、自動車の座席に正しく取り付けができているかを確認するためのLED インジケーターが装備されています。

01

単四乾電池 2 本（アルカリ電池の使用をお勧めします）が必要となります。本製品には付属していません。別途お買い求めください。

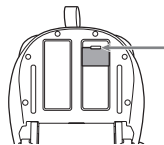
02

ベース底面のバッテリーボックスを開け、乾電池を入れて蓋を閉じます。プラス・マイナスを間違わないように注意してください。



👉ポイント!

蓋が開けにくい場合は、蓋の上部の空間にマイナスドライバーなどを差し込んで開けてください。



⚠️注意

電池の取り扱いに注意してください

お子さまが誤飲したりしないよう電池の取り扱いには注意してください。余った電池や取り外した電池は、お子さまの手の届かない場所で保管または廃棄してください。

電池は混ぜて使用しないでください

LED インジケーターが正常に機能しないおそれがありますので、種類の違う電池や古い電池と新しい電池を混ぜて使用しないでください。

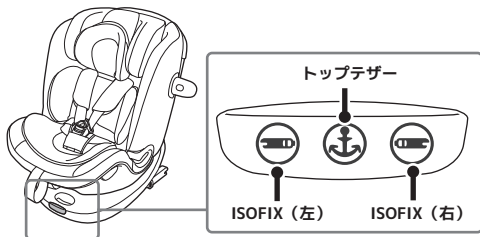
また、使い終わった電池は、お住まいの自治体の規定に従って正しく廃棄処理してください。

長期間使用しない場合は電池を取り外してください

乾電池の液漏れによる LED インジケーターの故障の原因となりますので、本製品を長期間使用しない場合は、電池を外しておいてください。取り外した電池はお子さまの手の届かない場所で保管してください。

03

LED インジケーターは、自動車の座席への取り付けを行う3ヵ所の状態を示します。左右の ISOFIX コネクター、トップテザーの取り付け状態が LED の点灯(消灯)と音により示されます。

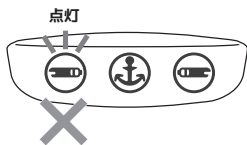


04

LED インジケーターは、ISOFIX コネクター(左右)、トップテザーのいずれか1ヵ所が自動車の座席に固定された時点で始動します。

正しく取り付けられていない部位のインジケーターが赤色に点灯します。

左右の ISOFIX コネクターとトップテザーのすべてが正しく固定されるとインジケーターは消灯します。取り付け後、すべてのインジケーターが消灯していることを確認してください。



ポイント!

トップテザーのインジケーターは、トップテザーベルトが引かれることにより起動します。ISOFIX コネクターが ISOFIX 固定装置に固定されていない状態でトップテザーベルトを引いたまま放置すると電池が消耗しますのでご注意ください。

05

LED インジケーターは、点灯(消灯)と同時に警告音でも状態をお知らせします。

左右の ISOFIX コネクターとトップテザーのいずれか1つでも正しく固定されていない場合は、該当箇所を示す LED インジケーターが点灯すると同時に、「ピー・ピー」と警告音になります。

警告音は3分半ほどかけて徐々に大きくなり、15分経っても正しく取り付けができていない箇所がある場合は、もう一度このサイクルを繰り返します。



06

バッテリー残量が少なくなると、警告音が 15 秒間鳴り続けて新しい電池への交換を促します。

危険

LED インジケーターのみで取り付け状態を確認しないこと

LED インジケーターにより正常な取り付け状態が確認できたとしても、ISOFIX コネクターのインジケーター（左右）およびトップテザーのインジケーターを必ず目視で確認した上で本製品を動かしてみても確実に座席に固定されていることを確認してください。

使いかた

サイドインパクトプロテクションの使いかた

本製品には事故時などに生じる側面からの衝撃を緩和する安全機構のサイドインパクトプロテクションが同梱（1 個）されています。

サイドインパクトプロテクションは、お子さまを乗せて使用する状態で本製品シートの自動車のドア側に取り付けてください。

実際にご使用になる前に、サイドインパクトプロテクションを取り付けてみて、ドアの開閉に干渉しないか、本製品のシートを回転した際にドアや座席に干渉しないかを確認してください。サイドインパクトプロテクションがドアにあたり、干渉する場合は取り外して本製品を使用してください。

注意

シートの向きに注意してください

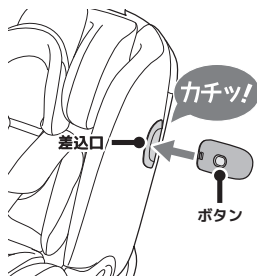
サイドインパクトプロテクションは、お子さまを乗せて使用する状態で、自動車のドア側になるように取り付けます。本製品はシートを回転させて後ろ向き、または前向きで使用しますので、本製品を使用するモードに応じて左右を確認してサイドインパクトプロテクションを取り付けてください。

中央席側（他の乗員側）には取り付けないでください

事故や衝撃を受けた際に、中央席側の乗員にサイドインパクトプロテクションがあたりケガをするおそれがあります。

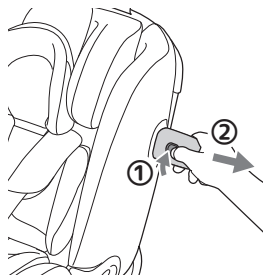
01

取り付けるには、サイドインパクトプロテクションを取り付ける側の差込口に、サイドインパクトプロテクションのボタンを手前側にして差し込みます（シートを前側から見た状態の手前側です）。「カチッ」と音がして、サイドインパクトプロテクションが固定されたことを確認してください。



02

取り外すには、サイドインパクトプロテクションのボタンを①押しながら、②引き抜きます。

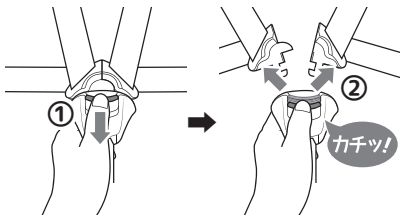


バックルの使いかた

バックルの外しかた

01

バックルを外すには、バックルを握って①バックルボタンを押し下げます。②「カチッ」と音がして、差込みタングが外れます。



⚠注意

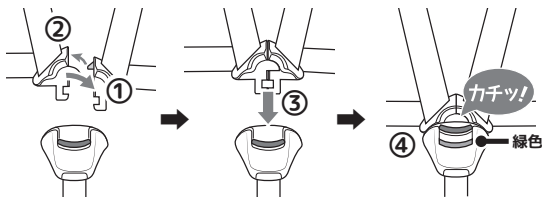
バックルは握って操作してください

直接にバックルボタンを押下すると、お子さまの腹部を圧迫するおそれがあります。お子さまに負担のないようにバックルを握って操作してください。あらかじめハーネスを少しゆるめて操作すると、よりお子さまへの負担を減らすことができます。

バックルの留めかた

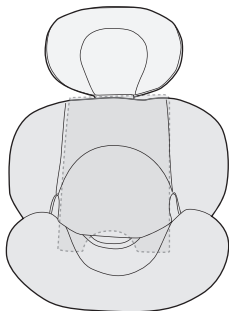
01

バックルを留めるには、①向かって左側の差込みタングを、右側の差込みタングに乗せるようにして、②右側の差込みタングの先端部の突起を左側の差込みタングに差し入れて重ねます。③そのまま受けバックルに差し込んで、④「カチッ」と音がするようにしてバックルを留めます。バックルが正しく留まると、バックルボタンの下に緑色のインジケーターが現れます。



インファントインサートの使いかた

インファントインサートはベビーモードでのみ使用します。身長 60cm までのお子さまには、インファントインサートを取り付けた状態でのご使用を強く推奨します。トドラーモードとジュニアモードでは、インファントインサートは使用できません。トドラーモード、ジュニアモードで使用する場合は、インファントインサートを取り外してください。



インファントインサートの外しかた

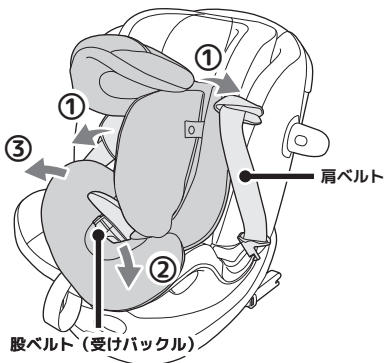
01

あらかじめバックルを外して、ハーネスをゆるめておきます。

参照 P35 ▶肩ベルト（ハーネス）の長さ調節▶01

02

①左右の肩ベルトをインファントインサートから抜き取り、②股ベルト（バックル/股ベルトパッド）をインファントインサートの通し穴から抜いて、③インファントインサートを取り外します。



03

インファントインサートの取り付けは逆の手順で行います。ハーネスを十分にゆるめて、インファントインサートが浮かないようにしっかりと奥に押し込むようにしてください。

インファントインサートの分解

インファントインサートはお手入れのために分解することができますが、ヘッドサポート、ボディサポート、クッションのみ、またはこれらの一部を組み合わせた状態では使用できません。



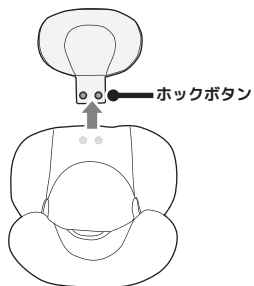
警告

インファントインサートはすべてを正しく組み立てた状態でのみ使用することができます

ヘッドサポートのみ、ボディサポートのみ、クッションのみなど、インファントインサートの一部のみを取り付けて使用しないでください。

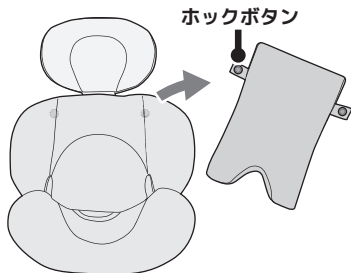
01

ヘッドサポートは、ボディポジションの裏側のホックボタン(2カ所)で固定されています。ホックボタンを取り外してヘッドサポートを取り外します。



02

クッションは、ボディポジションの裏側のホックボタン (2カ所) で固定されています。ホックボタンを取り外してクッションを取り外します。



03

組み立ては逆の手順で行います。

肩ベルト（ハーネス）の長さ調節

お子さまの体格や月齢、着衣の状態に応じて肩ベルト（ハーネス）の長さを調節します。

⚠危険

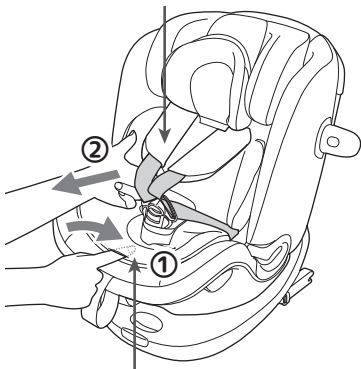
肩ベルト（ハーネス）の長さは適切に調節すること

肩ベルト（ハーネス）は必ず適切な長さに調節してください。肩ベルトが締められすぎていたり、ゆるんでいたりすると、事故や衝撃の際に、お子さまが本製品から飛び出したり肩ベルトが首に絡まるなどして思わぬ事故につながるおそれがあります。

01

肩ベルトをゆるめるには、①シートの前端的ベルトアジャスター（穴の中にありますので外側からは目視できません）を押し込みながら、②肩ベルトを持って、ゆっくりと手前に引き出します。肩ベルトパッドを持つと、肩ベルトの引き出しができませんのでご注意ください。

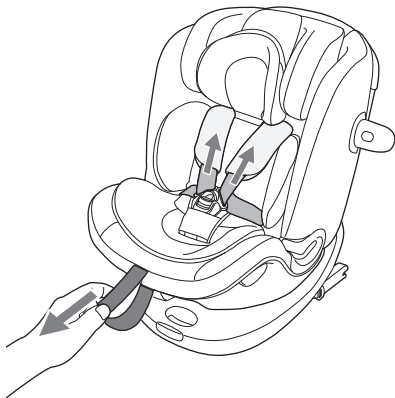
Check! 肩ベルトを持って引き出します。肩ベルトパッドを持つと、肩ベルトの引き出しができません。



Check! ベルトアジャスターは穴（切れ込み）の中にあります。外側からは見えません。

02

肩ベルトを締めるには、アジャストベルトを手前に引きます。



⚠注意

アジャストベルトはゆっくりと引いてください。

勢いよく強くアジャストベルトを引くと、お子さまに過剰な負担がかかるおそれがあります。

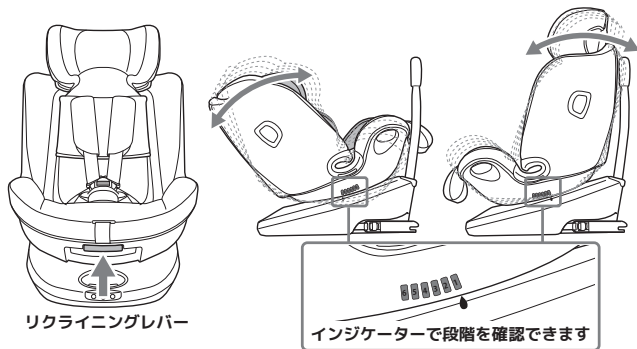
またハーネスが締めすぎると、お子さまに過剰な負担が掛かるおそれがあります。肩ベルトは、お子さまとの間に大人の方の手のひらを差し込める程度に締め付けてください。

リクライニングの使いかた

リクライニング（6段階）を切り替えることにより、シートの背もたれの角度を変更することができます。すべてのモードで6段階で調節することができます。

01

シート前端部のリクライニングレバーを握って、6段階で調節してください。目的の角度でリクライニングレバーから手を放すとシートの背もたれが固定されます。



⚠注意

角度に注意してください

お子さまの姿勢にご注意ください。首がしっかりとすわっていない間は、お子さまの頭部が傾かないよう、極端にシートの背もたれを立てないようにしてください。

ヘッドサポート・肩ベルトの高さ調節

ヘッドサポートと肩ベルトの高さ調節は連動しています。

ヘッドサポートの高さを調節すると、自動的に肩ベルトの高さも調節されます。本製品のハーネス（ベビーモード・トドラーモード）を使用する場合は本製品の肩ベルトの高さを調節します。ジュニアモードで使用する場合は自動車のシートベルトの肩ベルトを通す肩ベルトガイドの高さを調節しますが、いずれの高さの調節も操作方法は同様です。

お子さまの成長に合わせて、ヘッドサポートと肩ベルトの高さを適切に調節してください。

⚠危険

肩ベルトの高さは適切に調節すること

肩ベルトの高さは、使用するモードおよびお子さまの体格や月齢に合わせて、必ず適切な高さに調節してください。肩ベルトの高さが適切でないと、事故や衝撃を受けた際に、お子さまが本製品から飛び出したり、肩ベルトがお子さまの首に絡まるなどして、重大な事故につながるおそれがあります。

参照 P56-57 ▶肩ベルト（ハーネス）の高さの調節

参照 P73 ▶肩ベルト（シートベルト）の高さの調節

01

ヘッドサポートの高さは7段階で調節できます。

ヘッドサポート上端の①ヘッドサポートアジャストレバーを引き上げて、②ヘッドサポートを上下に調節します。目的の高さでヘッドサポートアジャストレバーから手を離すと、その高さでヘッドサポートが固定されます。



02

ヘッドサポートを軽く上下に動かして、しっかりと固定されていることを確認してください。

ポイント!

ハーネスが短い状態に調節されているとヘッドサポートが上方向に動かしくくなります。この場合はハーネスをゆるめてください。

参照 P35 ▶肩ベルト（ハーネス）の長さ調節▶ 01

シートの回転

本製品は、お子さまの乗せ降ろしを簡単にするため、また使用するモードの切り替えのためにシートが回転する構造になっています。

危険

お子さまの身長・体重に応じて、正しいモードで使用する

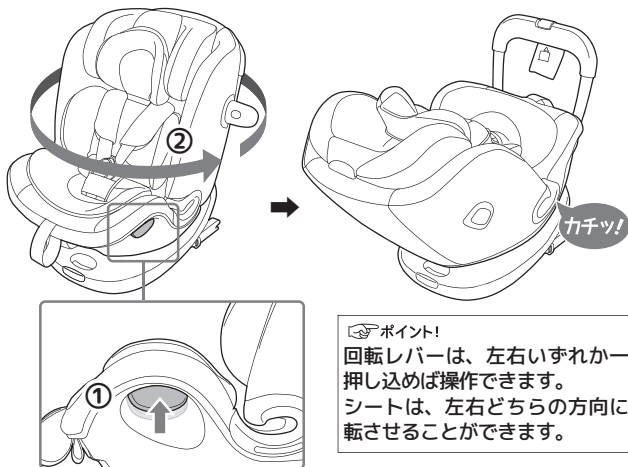
本製品の適合する基準により、お子さまの身長および体重（トドラーモードはこれに加えて月齢）によって使用できるモード（シートの向き）が定められています。

シートを横向きなどにして使用しない

シートはモードに応じて、後ろ向きまたは前向きに固定して使用してください。横向きや斜め向きなど回転途中の状態では絶対に使用しないでください。

01

シート側面左右いずれかの①回転レバーを押し上げて、②シートを回転させます。「カチッ」と音がして、後ろ向きで固定されていることを確認してください。



02

シートを軽く動かしてみて、後ろ向きで確実に固定されていることを確認してください。後ろ向きから前向きへの回転も、操作方法は同様です。

⚠注意

回転操作は注意して行ってください

操作する方やお子さまが、手足を挟んだりシートベルトにからむなどしてケガをするおそれがあります。回転操作は安全を確認して慎重に行ってください。

持ち上げや持ち運びの際に回転レバーにご注意ください

回転レバーを押し上げると、シートとベースの固定が解除されます。このため、回転レバーに手を掛けてシートを持ち上げると、ベースが回転してケガをするおそれがあります。本製品を持ち上げる際や持ち運ぶ際は、ベースをしっかり持つようにしてください。

シートは常に固定しておくこと

お子さまが乗っていない場合でも、シートは後ろ向き、前向きのいずれかの向きで固定しておいてください。自動車の走行中にシートが動くと思わぬ事故につながるおそれがあります。

本製品の取り付け

以下は、ベビーモード時の状態を示しますが、トドラーモード、ジュニアモードの場合でも、操作内容は同じです。

警告

お子さまを近づけないようにして作業すること

安全のため、取り付け、取り外しの作業中は、お子さまを近づけないようにしてください。

注意

お子さまを乗せた状態で取り付け、取り外しをしないこと

本製品が落下したり思わぬ動きをして事故につながるおそれがあります。

座席に取り付け痕およびキズがつくことがあります

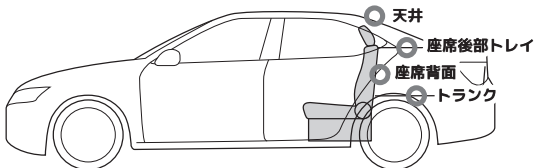
本製品を正しく取り付けることにより、自動車の座席の表面に取り付け痕が残ったり、キズが発生する事があります。あらかじめご了承ください。

お子さまを乗せていない状態でも本製品を正しく座席に固定すること

本製品は、お子さまを乗せていない状態でも本書の指示に従い、常に正しく座席に取り付けて固定しておいてください。

トップテザーアンカーの確認

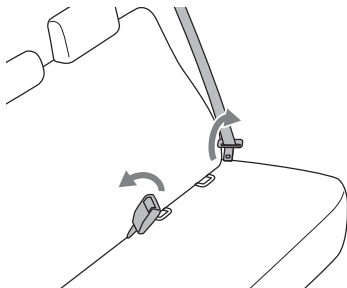
本製品では、自動車のトップテザーアンカーを使用します。トップテザーアンカーの位置は、車種により異なります。自動車の取扱説明書で取り付ける座席のトップテザーアンカーの位置をあらかじめ確認しておきます。



取り付けかた

01

本製品を取り付ける座席のシートベルトは、留めずに巻き取るなどして邪魔にならないようにしておきます。シートタングやシートバックル、その他のものの上に本製品を乗せないようにしてください。



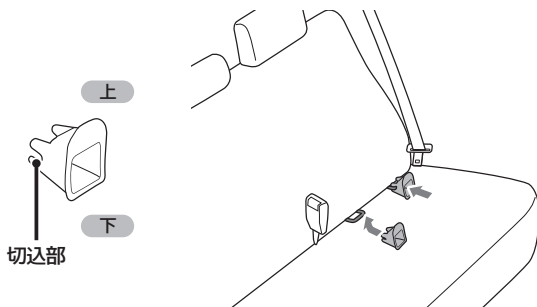
 **ポイント!**

ISOFIX 固定装置は、座面と背もたれの間奥にあります。背もたれを押し上げるか、座面を押し下げると、ISOFIX 固定装置が見えますので、その状態で ISOFIX ガイドを差し込んでください。また、車種によっては、ISOFIX 固定装置にカバーが掛けられている場合がありますので、お車の取扱説明書をご確認ください。

02

ISOFIX ガイドを、座席の ISOFIX 固定装置に差し込みます。

ISOFIX ガイドには左右はありませんが、上下がありますので上下を間違わないように注意して、切込部を ISOFIX 固定装置に差し込むようにして取り付けてください。



 **ポイント!**

車種によっては、ISOFIX ガイドに類するカバーが取り付けられているなど、ISOFIX ガイドを差し込めない場合があります。その場合は、ISOFIX ガイドを差し込まずに本製品を取り付けることもできますが、ISOFIX 固定装置の周囲の座席の生地に傷がつく場合があります。あらかじめご了承ください。

03

シートを後ろ向きにして、固定します。

参照 P39-40 ▶シートの回転

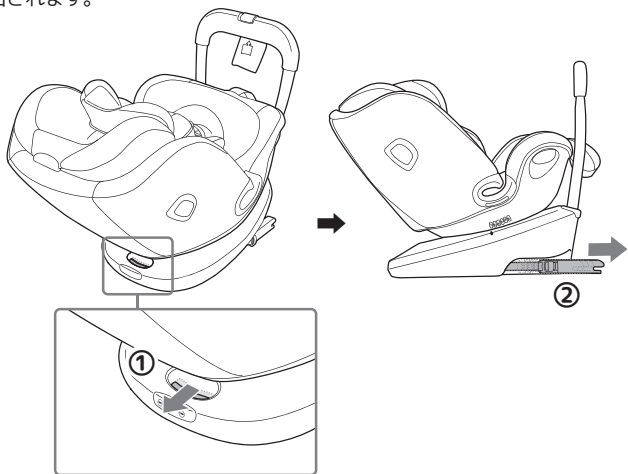
 **ポイント!**

前向きの状態でも取り付け操作は可能ですが、後ろ向きにして操作した方がトップテザーベルトの操作がしやすくなります。

04

①アジャストレバーを手前に引いて、② ISOFIX コネクターを最後まで引き出しておきます。

ISOFIX コネクターは左右連動しているもので、いずれか一方を引き出すと、左右とも引き出されます。



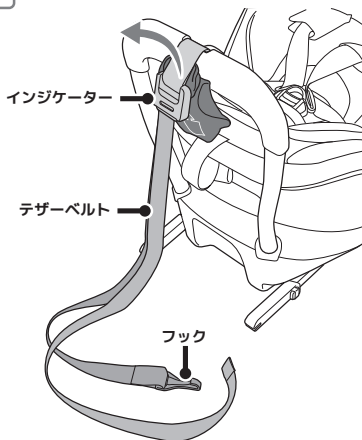
05

本製品を、取り付ける座席の上に置いて、収納袋からトップテザー（インジケーター、トップテザーベルト、フック）を出しておきます。

⚠注意

フックに注意すること

ケガをしたりモノ、自動車にキズを付けるおそれがあります。金属製のフックが、人やモノ、自動車などにあたらないよう、本製品を座席に置いてからトップテザーを取り出してください。

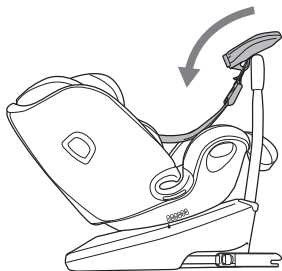


06

トップテザー（インジケーター、トップテザーベルト、フック）をシートに乗せるようにしておきます。

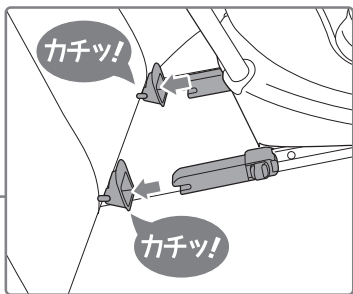
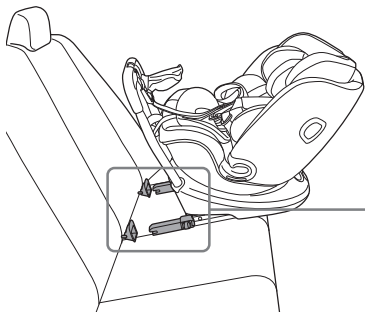
ポイント!

トップテザーがベースの ISOFIX コネクター側にあるとリバウンドバーが干渉し、取り付け操作がしにくくなります。トップテザーはシート側にしておいてください。



07

左右の ISOFIX コネクターを、それぞれ ISOFIX ガイドに差し込みます。「カチッ」と音がして ISOFIX 固定装置に固定されるまでしっかりと差し込んでください。



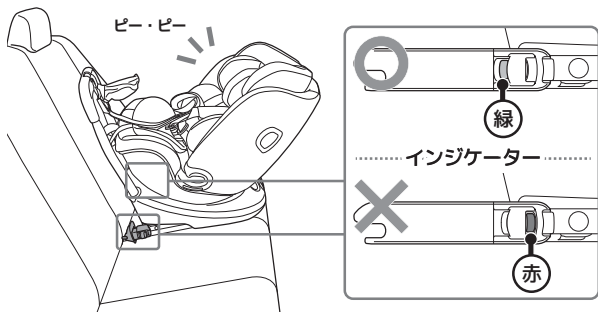
ポイント!

座席の生地によっては、摩擦により ISOFIX コネクターが本体側に押し戻されることがあります。その場合 ISOFIX コネクターを持つなどして、ISOFIX コネクターを少し浮かせた状態にして差し込んでください。

08

左右の ISOFIX コネクターのインジケータが両方も完全に緑色になっていることを確認してください。どちらか一方でも赤色の状態では、本製品が正しく固定されていません。

本製品を手前に引いてみて、ISOFIX コネクタが抜けたり、インジケータが赤色になったりしないことを確認してください。



👉ポイント!

LED インジケータの警告音が鳴り始めます。トップテザーを正しく固定するまで、警告音は鳴り続けます。

⚠危険

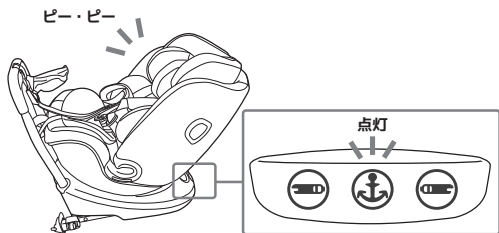
確実に ISOFIX コネクタを固定すること

左右の ISOFIX コネクタが確実に ISOFIX 固定装置に取り付けられていないと、事故や衝撃を受けた際に、本製品が自動車の座席から外れ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

ISOFIX コネクタの左右のインジケータのいずれか一方でも緑色になっていない場合、本製品は正しく取り付けられていない状態ですので、固定時に左右とも「カチッ」と音がして、かつ、左右両方のインジケータが緑色になるよう取り付けなおしてください。

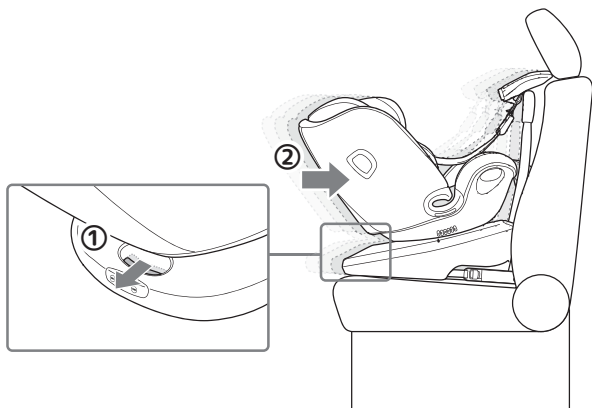
09

ISOFIX コネクターが左右とも正しく固定されると、トップテザーのLED インジケータが点灯して「ピー・ピー」と警告音が鳴り始めます。警告音は、トップテザーが正しく固定されるまで鳴り続けます。



10

①アジャストレバーを引いて、②本製品を自動車の座席の背もたれ側に押しします。リバウンドバーを座席の背もたれに押し付けるようにしてください。

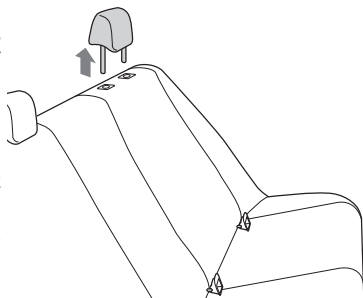


11

ヘッドレストが装備されていて、かつ取り外し可能な座席の場合、ヘッドレストを取り外しておきます。

高さの調節が可能で、かつトップテザーをヘッドレストと座席の背もたれの間を通す事ができる場合は、トップテザーが通る程度に高くしておきます。

取り外した場合は、ヘッドレストはそのままにせず、車室内から出してトランクの中など、安全な場所に保管しておいてください。



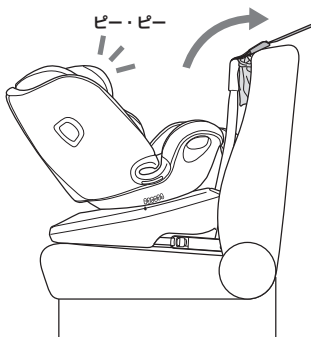
⚠注意

トップテザーの取り付け痕が残ります

本製品のようなトップテザーを使用するチャイルドシートの場合、チャイルドシートを正しく取り付けることによって座席の上部やヘッドレストにトップテザーベルトによる取り付け痕が残ります。あらかじめご了解の上ご使用ください。

12

トップテザー（テザーベルト）を、座席の後方に回します。

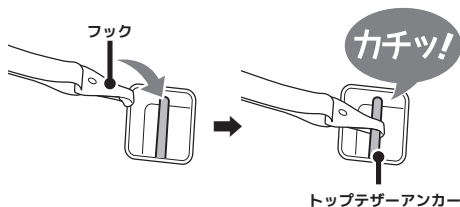


👉ポイント!

ヘッドレストの調節、取り外しができない場合は、ヘッドレストの上を通します。また、座席後部トレイにトップテザーアンカーが装備された座席の場合や一部の車種では、トップテザーベルトをヘッドレストの上を通さないと正しくトップテザーの取り付けができない場合があります。

13

テザーベルトをねじらないように注意して、フックをトップテザーアンカーに取り付けます。



警告

テザーベルトをねじらないようにすること

テザーベルトにねじれがあると、本製品が安全に機能しないおそれがあります。テザーベルトをねじらずに、トップテザーアンカーに取り付けてください。

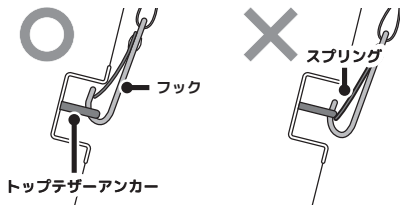
ポイント!

フック側のベルトが短く、フックがトップテザーアンカーに届かない場合はフック側のベルトをゆるめてください。

参照 P51 ▶本製品の取り外し▶ 01

14

トップテザーがトップテザーアンカーに正しく取り付けられているか確認します。トップテザーのフックのスプリングがトップテザーアンカーに掛かっていないことを確認してください。トップテザーアンカーの使用に関しては、必ず自動車の取扱説明書を併せてご確認ください。

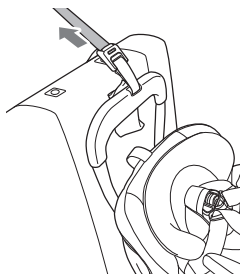


ポイント!

この時点ではまだ警告音は止まりません。

15

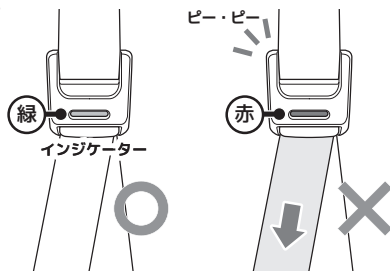
上側のテザーベルト（フックの付いていない方のベルト）を強く引きます。強く引くほど、トップテザーは強く固定されます。



16

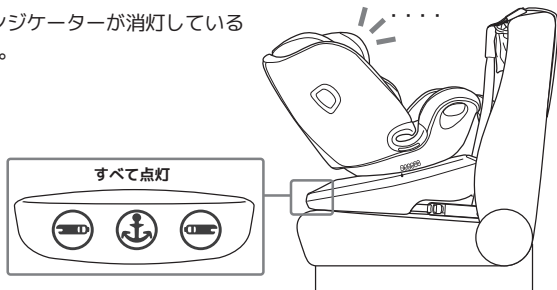
テザーベルトから手を離した状態で、トップテザーのインジケーターが緑色になり、警告音が消えていることを確認します。インジケーターが赤色で警告音が鳴っている場合は、インジケーターが緑色になり警告音が消えるまで上側のテザーベルトをさらに引きます。

テザーベルトから手を離しても、インジケーターが緑色で、警告音が消えている状態が正しい状態です。



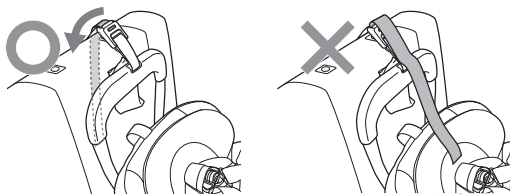
17

すべてのLED インジケーターが消灯していることを確認します。



18

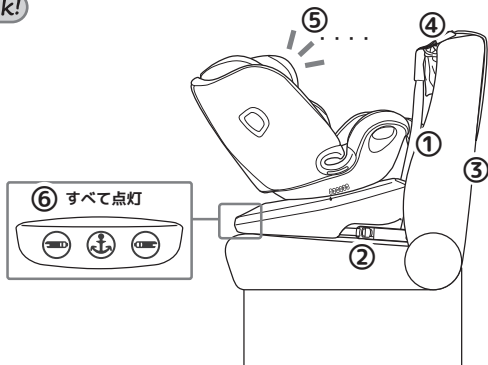
余ったテザーベルトは、お子さま側に垂らさず、自動車の座席の裏側に垂らすか、束ねるなどして邪魔にならないようにしておいてください。



19

以下のチェックリストを確認します。一つでも適切でない部分がある場合は、もう一度取り付けなおしてください。

Check!



- ① 本製品がしっかりと座席の背もたれ側に押し込まれていること。
- ② 左右の ISOFIX コネクターが正しく ISOFIX 固定装置に固定されていて、左右の ISOFIX コネクターのインジケーターがいずれも緑色になっていること。
- ③ トップテザーのフックが正しくトップテザーアンカーに固定されていること。テザーベルトにねじれがないこと。
- ④ トップテザーのインジケーターが緑色になっていること。
- ⑤ LED インジケーターがすべて消灯していること。
- ⑥ 警告音が鳴っていないこと。

本製品の取り外し

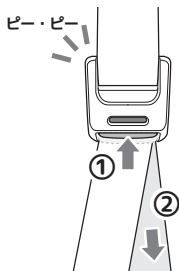
以下の図は、ベビーモード時の状態を示しますが、トドラーモード、ジュニアモードの場合でも、操作内容は同じです。

01

①トップテザーのリリースボタンを押して、②下側のテザーベルト（トップテザーアンカーに取り付けられている方のベルト）を引いて、テザーベルトをゆるめます。

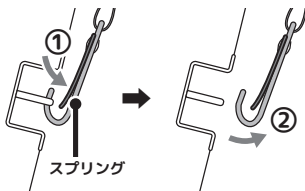
👉ポイント!

テザーベルトをゆるめると警告音が鳴ります。本製品の取り外しが完了するまで警告音は鳴り続けます。



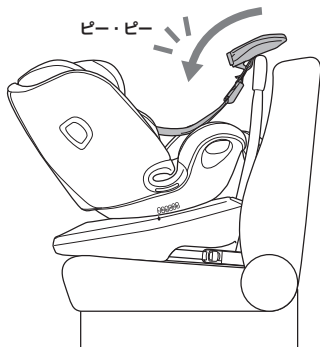
02

①トップテザーのフックのスプリングを押し上げて、②フックをトップテザーアンカーから取り外します。



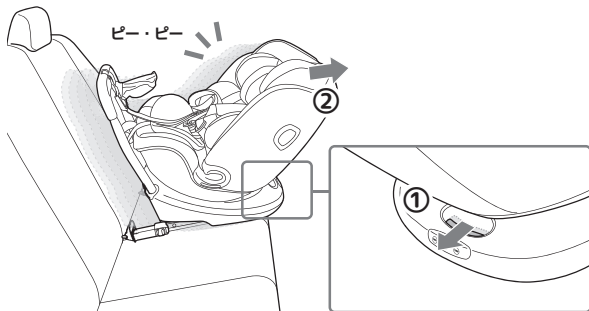
03

取り外したトップテザー（インジケーター、トップテザーベルト、フック）をシートに乗せるようにしておきます。



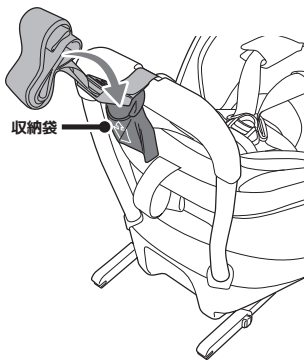
04

①アジャストレバーを手前に引いて、②本製品を前方向に引き出します。



05

フックを包むようにしてテザーベルトをたたみ、トップテザーを収納袋に収めます。



⚠注意

フックに注意すること

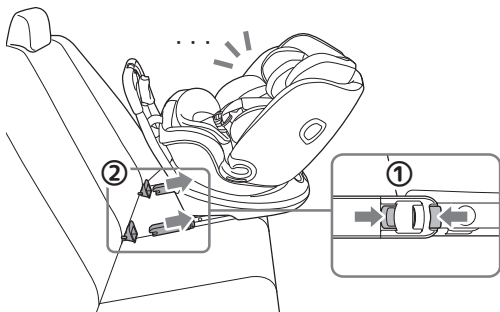
ケガをしたりモノ、自動車にキズを付けるおそれがあります。金属製のフックが、人やモノ、自動車などにあたらないよう、取り外したトップテザーは収納袋に入れておいてください。

06

ISOFIX コネクターはダブルロック構造になっています。左右の ISOFIX コネクターを同時に操作してください。①前後のリリースボタンを押してロックを解除して、② ISOFIX 固定装置から ISOFIX コネクターを抜きます。正しく取り外しができると、警告音が止まります。

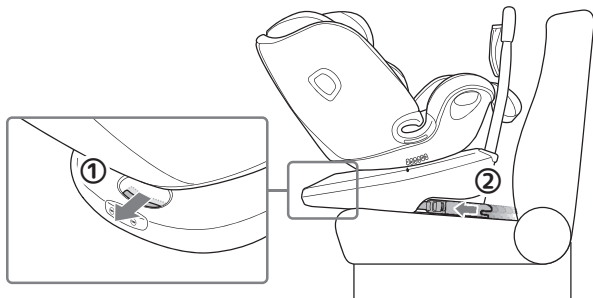
ポイント!

左右の ISOFIX コネクターを同時に操作しないと、ISOFIX コネクターの取り外しができません。



07

①アジャストレバーを手前に引いて、② ISOFIX コネクターを最後まで押し込んでベースに格納してください。取り外しが完了したら、本製品を自動車から出します。



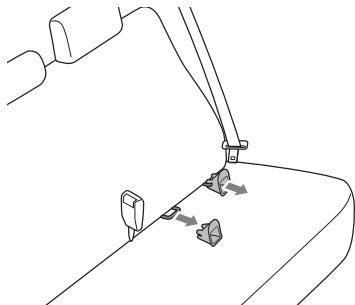
⚠注意

ISOFIX コネクターをベースに格納しておくこと

本製品の破損やケガの原因となります。本製品を座席から取り外した際には、ISOFIX コネクターを本製品のベース側に完全に格納しておいてください。

08

ISOFIX ガイドを取り外します。ISOFIX ガイドをなくさないよう、お子さまの手の届かない場所で大切に保管してください。座席のヘッドレストを取り外した場合は、座席に取り付けなおしてください。



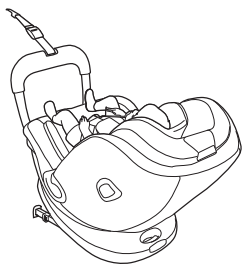
⚠ 注意

ISOFIX ガイドは取り外しておくこと

ISOFIX ガイドの紛失や破損、また乗員のケガの原因になります。ISOFIX ガイドは、必ず座席から取り外した上、お子さまの手の届かない場所で大切に保管してください。

ベビーモード・トドラーモードの使用方法

お子さまは本製品のハーネスを装着して使用します。



ベビーモード

使用可能なお子さまの条件

身長 : 40cmから105cmまで

体重 : 2.5kg^{*1}-18.5kg以下

目安年齢 : およそ4歳頃まで使用可能^{*2}

※1 在胎週数 37 週以上かつ出生時体重 2.5kg 以上のお子さまにご使用いただけます

※年齢は目安となります。使用の可否は、身長および体重で定められています。



トドラーモード

使用可能なお子さまの条件

身長 : 76cmから105cmまで

体重 : 18.5kg以下

開始月齢 : 生後15ヵ月以上

目安年齢 : およそ4歳頃まで使用可能^{*}

※目安年齢は使用終期の目安となります。使用可能上限は、身長および体重で定められています。

⚠危険

生後 15 ヶ月を超えるまではベビーモードで使用すること

お子さまの身長が 76cm 以上になっても、生後 15 ヶ月を超えるまではトドラーモードにして使用しないでください。

肩ベルト（ハーネス）の高さの調節

お子さまを正しい状態で本製品に乗せてください。

参照 P59 ▶お子さまの乗せかた▶ 04

ポイント!

ベビーモードとトドラーモードでは、肩ベルトの適切な高さが異なります。ベビーモード、トドラーモードの切り替えはシートを回転させるのみですが、モードに合わせて必ず肩ベルトの高さを適切に調節してください。

01

あらかじめハーネスを少しゆるめてから、肩ベルトの高さを調節します。

参照 P35 ▶肩ベルト（ハーネス）の長さ調節▶ 01

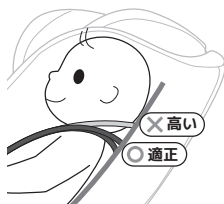
参照 P38-39 ▶ヘッドサポート・肩ベルトの高さ調節

02

使用するモードに応じて、ヘッドサポートを操作して、適切な高さに調節してください。

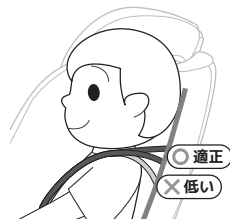
ベビーモードの場合の適切な高さ

肩ベルトはお子さまの肩の位置と水平か、または肩の高さよりも低くかつ最もお子さまの肩の位置に近い高さに調節します。お子さまの肩の高さよりも高い位置や低すぎる位置の場合、お子さまがハーネスから抜けるおそれがあります。



トドラーモードの場合の適切な高さ

肩ベルトはお子さまの肩の位置と水平か、または肩の高さよりも高くかつ最もお子さまの肩の位置に近い高さに調節します。お子さまの肩の高さよりも低い位置や高すぎる位置の場合、お子さまがハーネスから抜けるおそれがあります。





危険

肩ベルトの高さは適切に調節すること

肩ベルトの高さは、かならず適切な高さに調節してください。肩ベルトの高さが適切でないと、事故や衝撃を受けた際に、お子さまが本製品から飛び出したり、肩ベルトがお子さまの首に絡まるなどして、重大な事故につながるおそれがあります。



注意

やさしく、ゆっくりと操作すること

肩ベルトの高さ調節はお子さまの負担にならないように、やさしくゆっくりと操作してください。



ポイント!

肩ベルトの高さは毎回調節する必要はありませんが、使用の都度、適切な高さになっているかを確認するようにしてください。

肩ベルトの高さは、お子さまの成長に合わせて適宜適切に調節してください。

お子さまの乗せかた

あらかじめ、以下のチェックリストを確認してください。



Check!

- ① 本製品が正しく自動車の座席に取り付けられていることを確認してください。

参照 P50 ▶本製品の取り付け▶ 19

- ② リクライニングの角度を調節します。



ポイント!

お子さまの月齢が低い場合（お子さまの首がすわるまで）は、リクライニングの角度を立てすぎないようにしてください。

参照 P37 ▶リクライニングの使いかた

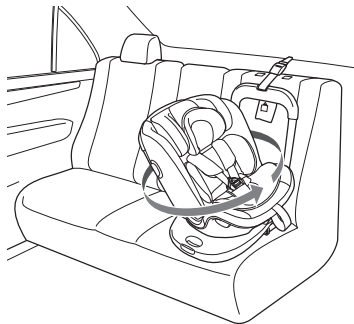
- ③ サイドインパクトプロテクションを取り付けます（または、取り外します）。

参照 P29-30 ▶サイドインパクトプロテクションの使いかた

01

お子さまを乗せやすい方向にシートを回転させてください。

参照 P39-40 ▶シートの回転



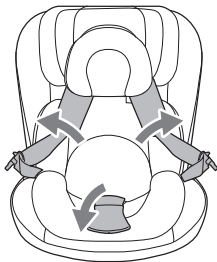
⚠注意

シートの動きに注意してください

シートは、前向きまたは後ろ向きでのみベースに固定されます。横向きの状態ではシートは安定しませんので、注意してお子さまの乗せ降ろしを行ってください。

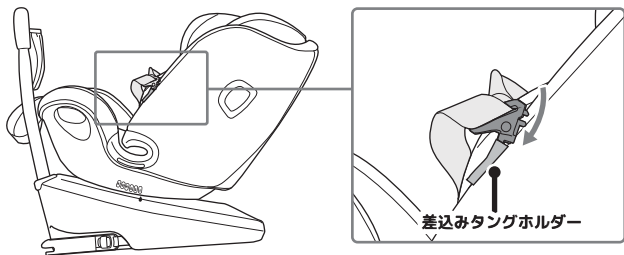
02

バックルを外して、肩ベルトを外に出し、股ベルトを前方に倒しておきます。



03

左右の差込みタンクを、本体の左右にある差込みタンクホルダーに差し入れておきます。左右とも同じようにしてください。



04

お子さまを楽な姿勢にして本製品に座らせます。背筋を伸ばして、股ベルト（受けバックル）を両足の間に入れます。



ポイント!

お子さまは楽な姿勢で座らせてください。座りかたが、浅すぎたり、深すぎたりしないようにご注意ください。



05

肩ベルトにお子さまの腕を通し、肩ベルト、腰ベルト、股ベルトにねじれがないことを確認してください。**腰ベルトがお子さまの骨盤の上を通るように調節して「カチッ」と音がするようにしっかりとバックルを留めます。**

参照 P31 ▶バックルの留めかた

ポイント!

ハーネスがきつい場合は無理にバックルを留めず、ハーネスをゆるめてからバックルを留めます。

参照 P35-36 ▶肩ベルト（ハーネス）の長さ調節



腰ベルトを骨盤の上に通す

⚠危険

腰ベルトはお子さまの骨盤の上を通すこと

腰ベルトが骨盤の上を通っていないと、事故や衝撃を受けた際に腹部や腿に過剰に負担が掛かり重大な事故につながるおそれがあります。

ハーネス、股ベルトをねじらないようにすること

ハーネス、股ベルトにねじれがあると、本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。バックルを留める際には、肩ベルト、腰ベルト、股ベルトにねじれがないことを確認してください。

06

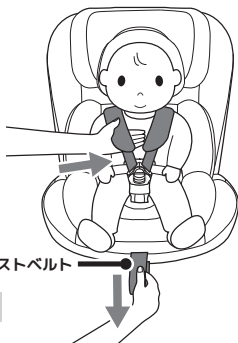
肩ベルトを調節します。肩ベルトとお子さまの間に、手のひらを差し込んでアジャストベルトをゆっくりと引いて締めつけます。

差し込んだ手のひらが肩ベルトとお子さまの身体の間に挟まれる程度まで締め付けるようにします。

ポイント!

締め付けすぎた場合は、ベルトアジャスターを使って、ハーネスをゆるめてから締めなおしてください。

参照 P35-36 ▶肩ベルト（ハーネス）の長さ調節

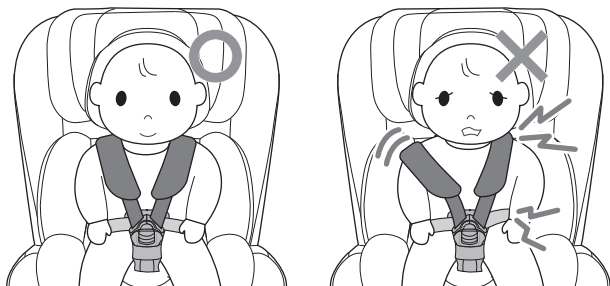


07

ハーネスが正しい状態になっていることを確認してください。

肩ベルトの高さが適切に調節されていて、肩ベルトパッドがお子さまの肩を通り、腰ベルトがお子さまの骨盤の位置を通るよう必ず確認し、正しくなるように調節してください。

参照 P56 ▶肩ベルト（ハーネス）の高さの調節▶ 02



⚠危険

ハーネスは適切に調節すること

肩ベルトが強く締めすぎるとおそれがありますので、アジャスターベルトを勢いよく引っ張らないでください。

強く肩ベルトが締まるほど、お子さまの保護は強くなりますが、強く締めすぎるとお子さまが苦しくなってしまいます。逆に、締めつけがゆるすぎると、使用中にお子さまが本製品から落下したり、衝撃を受けた際にお子さまが飛び出したりするおそれがあります。必ず、適切な強さで締め付けるようにしてください。

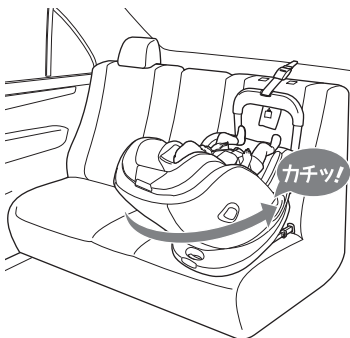
ハーネスは正しい状態で使用すること

ハーネスは必ず正しい状態で装着してください。ハーネスがゆるんでいたり、肩ベルトが腕の位置や頸部を圧迫する位置を通っていたり、腰ベルトがお子さまの腹部や大腿部の位置を通っていたりすると、事故や衝撃を受けた際に思わぬ事故につながるおそれがあるばかりか、通常の使用時においてもお子さまに危険がおよぶおそれがあります。ハーネスは必ず正しい状態にして、使用中もハーネスがずれたり、ゆるんだりしていないか適宜確認するようにしてください。

08

シートが横向き、または斜め向きになっている場合は「カチッ」と音がするまでシートを回転させて固定します。ベビーモードの場合は後ろ向き、トドラーモードの場合は前向きにして固定してください。軽くシートを動かして、後ろ向きまたは前向きで確実に固定されていることを確認してください。

ベビーモードの場合



トドラーモードの場合

生後 15 ヶ月以上



⚠危険

シートは安全を確認してゆっくりと回転させること

お子さまがシートベルトにひっかかったり、お子さまの手足が座席と本製品の間にかかっていたりすると、ケガをするおそれがあります。シートを回転させる際には、お子さまの安全を確認して、ゆっくりと回すようにしてください。

参照 P39-40 ▶シートの回転



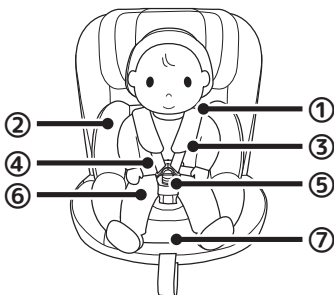
シートを確実に固定すること

シートは後ろ向き（ベビーモード）または前向き（トドラーモード）にして確実に固定してください。横向きや斜めの状態にして使用してはいけません。

09

以下のチェックリストを確認して、正しい状態になっているか確認してください。正しい状態になっていない部分がある場合は、正しい状態にしてから本製品を使用してください。

Check!



- ① 肩ベルトの高さが適切に調節されていること
※肩ベルトの適切な高さは、ベビーモードとトドラーモードで異なります。
- ② インファントインサートが正しく取り付けられていること
※身長 60cm まではインファントインサートを取り付けての使用を強くお勧めします。
- ③ ハーネスが適切に締め付けられていること
- ④ 肩ベルト、腰ベルト、股ベルトにねじれがないこと
腰ベルトがお子さまの骨盤の上を通っていること
- ⑤ バックルがしっかりと留まっていること
- ⑥ お子さまが正しい姿勢で座っていること
- ⑦ リクライニングがお子さまの成長に応じて適切に調節されていること

10

お子さまを降ろす場合は、シートを降ろしやすい向きに回転させて、バックル（ハーネス）を外し、ハーネスに引っ掛かたりしないよう注意して、ゆっくりとお子さまを降ろしてください。降ろした後は、シートを前向きまたは後ろ向きにして確実に固定してください。



ブースターモードでの使用方法

お子さまは、自動車の3点式シートベルトを装着して固定します。シートは自動車の進行方向に対して前向きにして使用します。ハーネス、バックル、股ベルトは本製品のシート内部に格納します。



使用可能なお子さまの条件

身長 : 100cmから125cmまで

体重 : 25kg以下

目安年齢 : およそ3歳半頃から7歳頃まで使用可能※

※年齢は目安となります。使用の可否は、身長および体重で定められています。

ブースターモードへの切り替え

👉ポイント!

自動車の座席に取り付けられている場合は、取り外してください。

01

シートを前向きにして固定します。

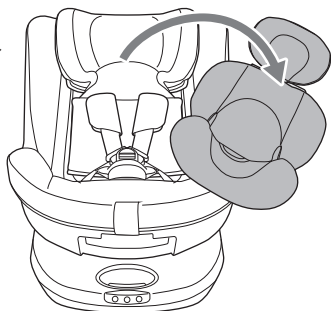


👉ポイント!

シートは後ろ向きでも作業できますが、前向きで固定したほうが作業しやすくなります。

02

インファントインサートが取り付けられている場合は取り外します。



参照 P32-34 ▶インファントインサートの使いかた

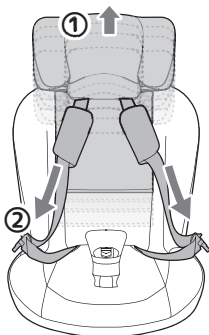
⚠注意

インファントインサートは大切に保管してください

ブースターモードでは、インファントインサートを使用できません。取り外したインファントインサートは、お子さまの手の届かない場所で大切に保管してください。

03

バックルを外し、①ヘッドサポートを最も高い位置まで調節して②肩ベルトをゆるめます。

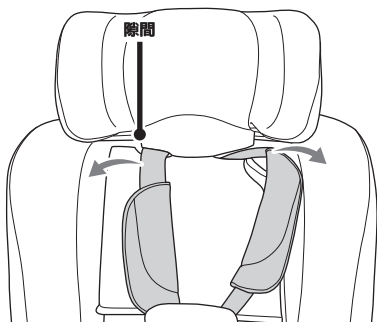


参照 P35 ▶肩ベルト（ハーネス）の長さ調節▶01

参照 P38-39 ▶ヘッドサポート・肩ベルトの高さ調節

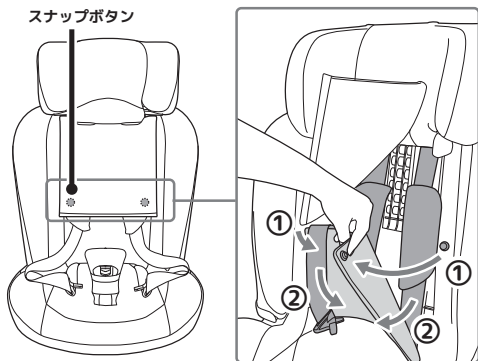
04

ヘッドサポート下端の隙間から左右の肩ベルト（肩ベルトパッド）を抜きます。左右とも同じようにしてください。



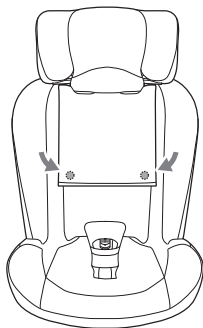
05

シートの背もたれ部上下中央あたりでカバーを留めている①左右のスナップボタンを外して腰ベルトを抜いて、②ハーネス全体（差込みタンク）をカバーの内側に入れます。



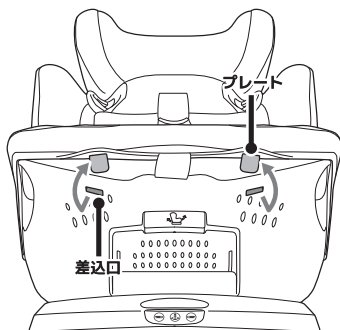
06

05で外したスナップボタンを留めます。右図のような状態になっていることを確認してください。



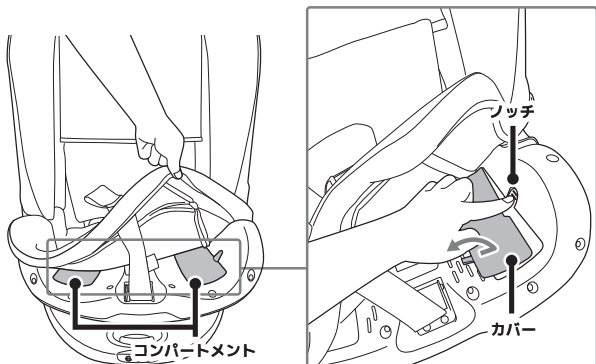
07

シートの前端部左右の差込口に差し込まれているシートカバーのプラスチック製のプレートを抜きます。左右とも抜いてください。



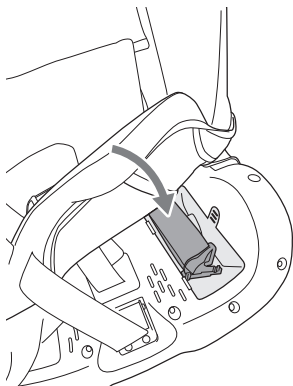
08

シート前部のカバーをめくり、コンパートメントのノッチを押し込んでコンパートメントのカバーを取り外します。左右とも同じようにしてください。



09

コンパートメントの中に、ハーネスをたたむようにして差込みタングを収納します。左右とも同じようにしてください。



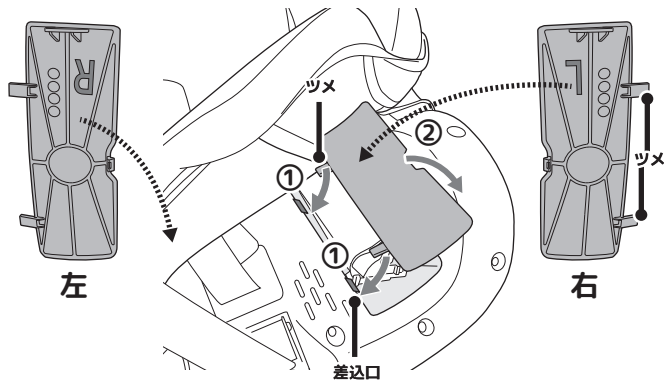
👉ポイント!

コンパートメントに収納しにくい場合は、肩ベルト（ハーネス）の長さを調節してください。

参照 P35-36 ▶肩ベルト（ハーネス）の長さ調節

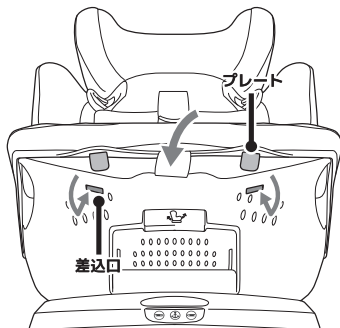
10

コンパートメントのカバーを閉めます。表裏と左右を確認してください。裏面に**L**と刻印されたカバーをシート正面から見て向かって**右側**に、**R**と刻印されたカバーを**シート正面から見て向かって左側**にして、①カバーのツメ（2カ所）をコンパートメントの差込口に差し入れて、②カバーをノッチ側に倒して閉めます。左右とも同じようにしてください。



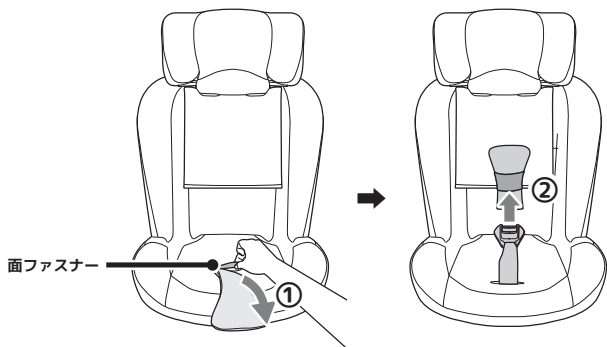
11

シートカバーを被せて、シートカバーのプラスチック製のプレート（プレート）を差込口に差し込みます。左右とも差し込んでください。



12

①股ベルトカバーの背面をシートのカバーの裏側で取り付けている面ファスナーを外して、②股ベルトカバーを引き抜きます。

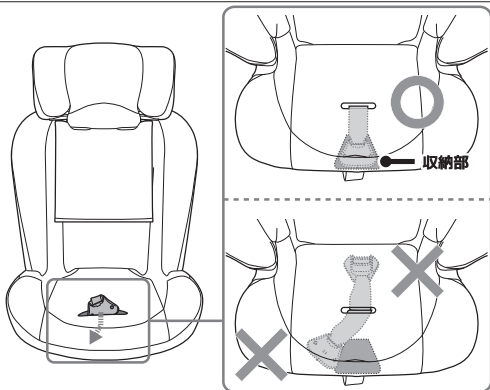


13

受けバックルを通し穴からカバーの中に入れ、シート前端の収納部に収納します。ベルトアジャスターの上に重ねるようにして収納します。収納部はカバーの内側にありますので、直接目視はできません。

👉ポイント!

ブースターモードでは、ベルトアジャスターは使用しません。



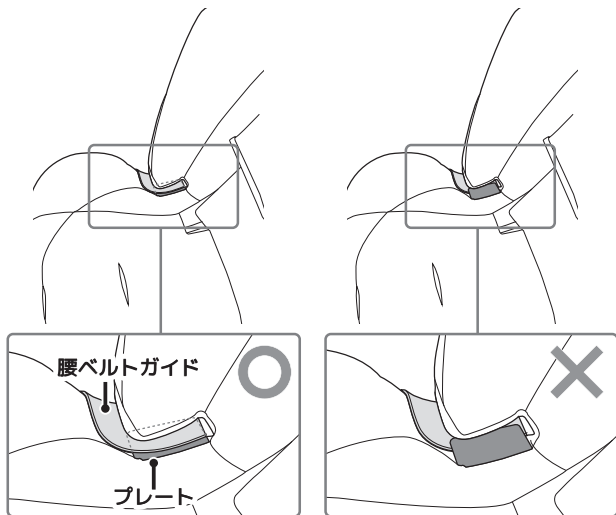
受けバックルは、収納部に正しく収納してください

受けバックルが収納部に正しく収納されていないと、着座したお子さまが不快になるばかりか、ケガや受けバックルの破損につながるおそれがあります。座面部を上から触ってみて、違和感や硬めの凸の感触がある場合は、受けバックルが正しく収納されていませんので、シートカバーを外して受けバックルを収納し、コンパートメントのカバーを確実に閉めてください。

参照 P67-69 ▶ブースターモードへの切り替え▶ 07-11

14

左右の腰ベルトガイド部のシートカバーを確認します。シートカバーのプラスチックのプレートが、腰ベルトガイドの上側になってしまっている場合は、腰ベルトガイドの下側にプレートを差し入れてください。左右とも同じように確認して、プレートを差し入れてください。



15

ジュニアモードから、トドラーモード、ベビーモードに戻すには逆の手順を行ってください。

その場合は、以下の各点に注意してください。

ポイント!

ハーネスを格納したコンパートメントの蓋を閉じること（左右）

参照 P68-69 ▶ブースターモードへの切り替え▶ 08-10

ヘッドサポート下部のスナップボタン（左右）を留めること

参照 P67 ▶ブースターモードへの切り替え▶ 06

腰ベルトガイド部のカバーのプラスチックのプレートを腰ベルトガイド部の下側に差し込むこと。

参照 P71 ▶ブースターモードへの切り替え▶ 14


股ベルトカバーを取り付けなおすこと

参照 P70 ▶ブースターモードへの切り替え▶ 12

肩ベルト（シートベルト）の高さの調節

お子さまを正しい状態で本製品に乗せてください。

参照 P59 ▶お子さまの乗せかた▶ 04 ▶ポイント

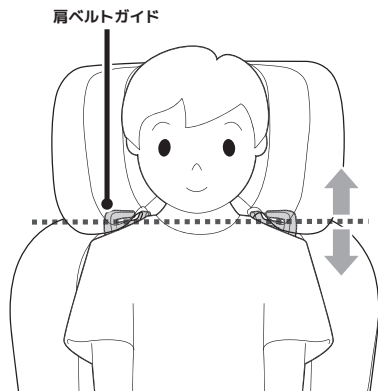
ポイント!


ジュニアモードでは、お子さまは自動車の3点式シートベルトを装着します。シートベルトの肩ベルトを本製品の肩ベルトガイドを通して、ヘッドサポートの高さを調節することにより肩ベルトの高さを調節します。

01
ヘッドサポートの高さを調節して肩ベルトガイドの高さを調節します。

参照 P38-39 ▶ヘッドサポート・肩ベルトの高さ調節

02
ヘッドサポート下部の緑色の肩ベルトガイドがお子さまの肩の高さと同じ高さになるようにします。



ポイント!

シートベルトを装着してから、もう一度肩ベルトガイドの高さを確認します。

お子さまの乗せかた

01

必要に応じてシートを乗せやすい向きに回転させてください。

参照 P39-40 ▶シートの回転

⚠危険

ジュニアモードは前向きでのみ使用すること

ジュニアモードではシートを前向きにして使用します。後ろ向きやその他の向きでは絶対に使用しないでください。

⚠注意

シートベルトを装着した状態でシートを回転させることはできません

お子さまを降ろす際にシートを回転させたい場合は、シートベルトを外してから、シートベルトに掛からないように安全を確認してから回転させてください。

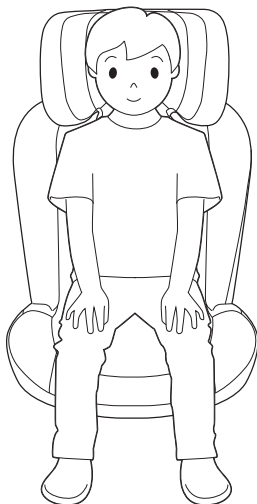
02

お子さまの背筋を伸ばし、楽な姿勢にしてシートに座らせます。腰を深くして、シートの座面中央に座らせてください。

シートが前向きで固定されていない場合は、お子さまが座ったらシートを前向きにして固定してください。

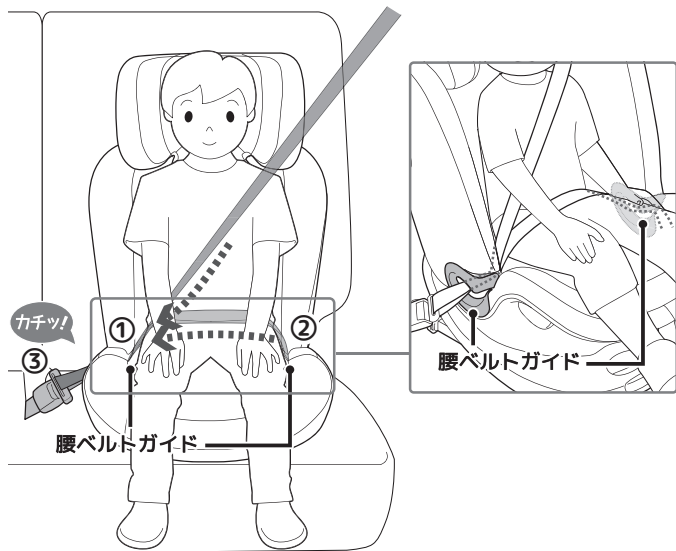
👉ポイント!

以下は、自動車を正面から見て右側の座席にお子さまを乗せる場合を説明しています（お子さまの左手側に自動車のドアがある状態）。左側の座席に乗せる場合は、左右が逆になりますのでご注意ください。



03

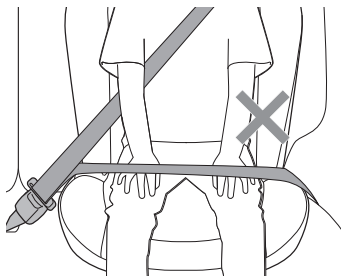
シートベルトをねじらないように注意して、①シートバックル側の腰ベルトガイド（緑色で指示されています）に肩ベルトと腰ベルトを通し、②自動車のドア側の腰ベルトガイドに腰ベルトを通して、③シートバックルを留めます。



⚠危険

シートベルトは腰ベルトガイドを通すこと

シートベルトが腰ベルトガイドを通っていないと、本製品が所定の安全性能を発揮しません。

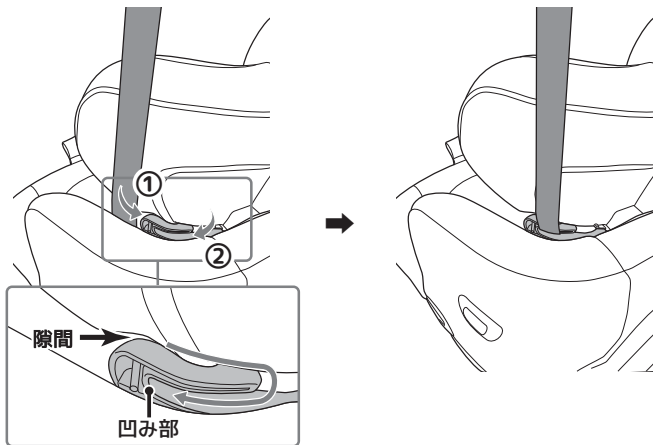


04

肩ベルトを、自動車のドア側の肩ベルトガイドに通します。

①ヘッドサポートと肩ベルトガイドの間から肩ベルトを差し入れ、そのまま奥まで差し込んで、②凹み部に肩ベルトがあたるように通します。

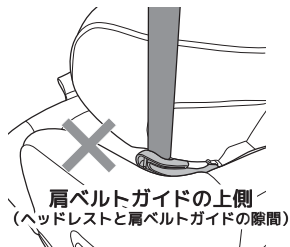
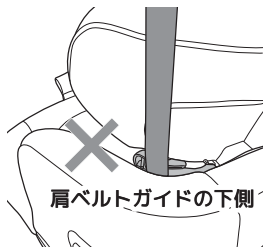
肩ベルトをねじらないように注意してください。



⚠危険

肩ベルトを正しく肩ベルトガイドに通すこと

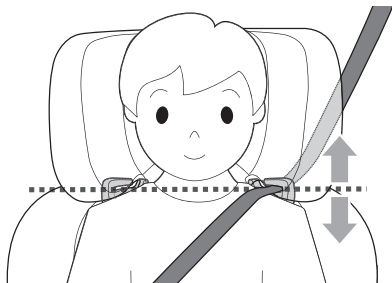
事故や衝撃を受けた際に、本製品が所定の安全性能を発揮できないおそれがあります。肩ベルトを肩ベルトガイドの下側や上側、また肩ベルトガイド以外の場所を通したりしないでください。



05

肩ベルトの高さが適切になっているか確認します。肩ベルトガイドがお子さまの肩と水平になる位置に調節してください。

高すぎたり、低すぎたりする場合は、ヘッドサポートの高さを調節して適切な高さに調節します。



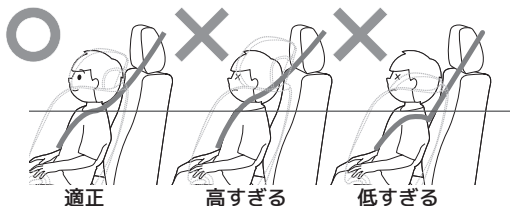
参照

P38-39 ▶ヘッドサポート・
肩ベルトの高さ調節

⚠危険

肩ベルトガイドの高さを適切に調節すること

肩ベルトガイドは、お子さまの肩と同じ高さに調節します。肩ベルトガイドが高すぎたり、低すぎたりすると、お子さまが本製品から飛び出したりするなどして、思わぬ事故につながるおそれがあります。



06

肩ベルトが、左右で正しい位置を通るようにしてください。正しい位置より外側、内側を通過している場合、お子さまの座る位置や本製品を左右に動かして正しい位置にします。肩ベルトは、正しい高さで、正しい位置を通るようにしてください。



⚠危険

肩ベルトは、必ず正しい位置を通すこと

肩ベルトが、正しい位置よりもお子さまの首側（内側）にあると事故や衝撃を受けた際に肩ベルトがお子さまの首を圧迫し大変危険です。正しい位置よりも外側の場合、事故や衝撃を受けた際にお子さまが肩ベルトからすり抜けて飛び出るおそれがあります。

肩ベルトがお子さまの顔、頭部、首に掛かっている場合はそのまま使用せず、ヘッドサポートの高さの調節や、本製品の位置を左右に微調整するなどして肩ベルトが正常な高さ、位置になるようにして使用してください。

腰ベルトだけで使用しないこと

肩ベルト、腰ベルトの両方を使用してください。肩ベルトをシートの裏側に回したり、左右両方の腰ベルトガイドに肩ベルトを通すなどして、腰ベルトだけの状態にして使用してはいけません。

肩ベルトを正しく使用すること

肩ベルトをゆるめたり、脇の下を通したりしないこと。肩ベルトをお子さまの背中側にして使用しないこと。

お子さまを正しく座らせること

お子さまが本製品のシート内で前方にずれる（お尻を前にずらす）と、肩ベルトがお子さまの首にかかり、お子さまの首が締められるおそれがあります。本製品使用中は、お子さまが正しい状態で座っているように注意、確認してください。

07

- ①腰ベルトの位置を調節して、お子さまの骨盤の上に腰ベルトが通るようにします。
- ②肩ベルトを引いてシートベルトにたるみがないようにします。

⚠警告

腰ベルトは骨盤の上を通すこと

事故や急制動などの際に衝撃を骨盤で受けられるよう、腰ベルトをお子さまの骨盤の上を通すようにしてください。骨盤の上を通っていないと、内臓の損傷、骨折にいたる危険性が高まります。



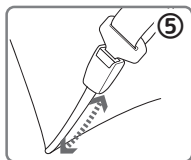
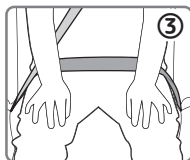
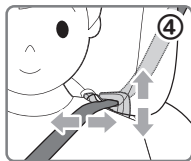
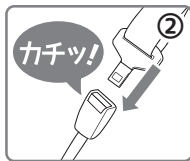
最後に、次のチェックリストを確認してください。

適切でない部分があれば、本書の指示に従い適切な状態に修正してから使用してください。

Check!



- ① 中央席側の腰ベルトガイドに、肩ベルトと腰ベルトが通っていること。
ドア側の腰ベルトガイドに、腰ベルトが通っていること。
- ② シートバックルにシートタングが確実に留まっていること。
- ③ 腰ベルトがお子さまの骨盤の上を通っていること。
腰ベルトにねじれ、たるみがないこと。
- ④ 肩ベルトの高さが適切になっていること。
肩ベルトの位置（左右）が適切な状態に調節されていること。
肩ベルトにねじれ、たるみがないこと。
- ⑤ シートバックルのベルトが長すぎる（または位置が高すぎる）場合、腰ベルトガイドにシートバックルが干渉するため、その座席では使用しないでください。



09

お子さまにシートバックルに手を触れないよう言い聞かせてご使用ください。
お子さまがシートバックルに手を触れ、バックルを外してしまうおそれがあります。

警告

シートベルトは常に正しい状態で使用すること

お子さまがシートバックルに手を触れてバックルを外してしまったり、シートベルトから抜け出そうとしたりするおそれがあります。常日頃から、シートバックルには手を触れないよう、シートベルトを正しく装着しておくよう言い聞かせるようにして、本製品の使用中は適宜安全の確認をするようにしてください。

ポイント!

お子さまが自分で乗り降りできるようになってからも、大人の監視のもとで乗り降りさせるようにしてください。

お子さまは大人と違い、成長が早く体型も日々変化します。お子さまを乗せ降ろしするたびに、肩ベルト（ヘッドサポート）の高さが適切かどうか確認するようにして、必要に応じて調節するようにしてください。

10

お子さまを降ろす場合は、シートベルトのバックルを外してお子さまを降ろしてください。

長期間使用しない場合は、本製品を自動車の座席から外して車外で保管してください。

お手入れのしかた

本製品では、お手入れのためシートのカバーを取り外すことができます。お手入れ後は、取り外したカバーを必ず元に戻してください。

警告

カバーを取り外した状態で使用しないこと

本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがありますので、カバーを取り外して使用しないでください。また、本製品に取り付けられている発泡ウレタン等の衝撃吸収材（EPP / EPS フォーム 白い衝撃緩衝材）は安全に関わる重要な部品ですので、絶対に取り外さないでください。また同様に、本製品に縫い付け、または貼られているラベルやシールも本製品の適合する安全基準で規定されている重要な部品ですので、決してはがさないでください。

カバーを外した状態の本製品、および取り外したカバーはお子さまの手の届かない場所に置いておくこと

お子さまが本製品の機構部（ハーネス部や回転機構、リクライニング機構部など）に手や指を差し入れてケガをするおそれがあります。

お手入れ等のため、カバーを外したら、取り付けなおすまでの間は、お子さまの手の届かない場所で保管するようにしてください。

またカバーはお子さまの手の届かない場所でお手入れしてください。

注意

カバーの取り付け、取り外しは、慎重に作業してください

カバーが引っかかった感じがする場合、無理をせず、引っかかった場所がないかを確認するようにしてください。

本製品に取り付けてある、発泡ウレタン等の衝撃吸収材に傷をつけないように注意してください。

カバーを取り外した状態の本製品を操作しないでください

ケガや破損のおそれがあります。カバーを取り付けなおすまでの間は、本製品を操作しないようにしてください。

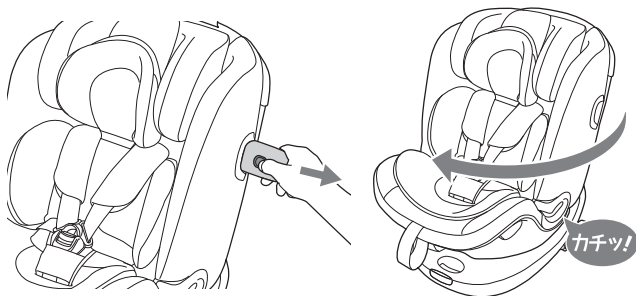
カバーの取り外し

01

ジュニアモードになっている場合は、インファントインサートおよびハーネスは取り外し、格納されていますので、カバー類の取り外し部分を操作してください。

02

サイドインパクトプロテクションを取り付けている場合は取り外して、シートを前向きに回転させてください。



参照 P30 ▶サイドインパクトプロテクションの使いかた▶02

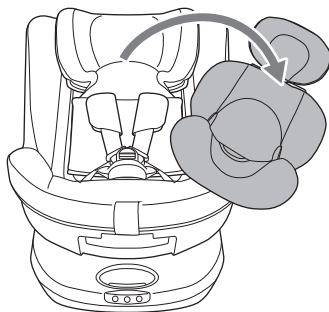
参照 P39-40 ▶シートの回転

03

バックルを外しておきます。

04

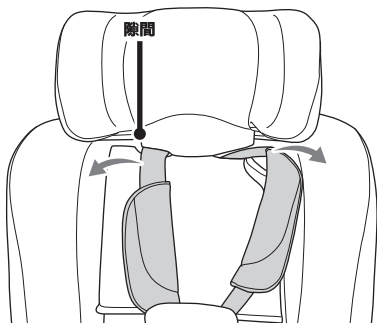
インファントインサートを使用している場合は取り外してください。



参照 P32-34 ▶インファントインサートの使いかた

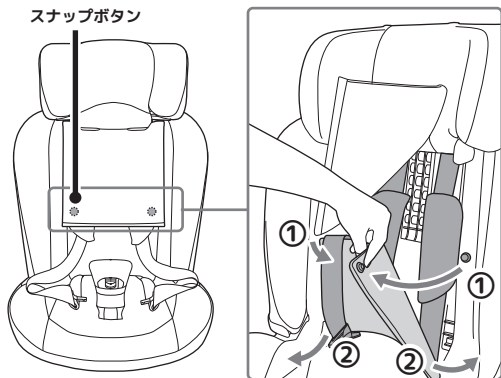
05

ヘッドサポート下端の隙間から左右の肩ベルト（肩ベルトパッド）を抜きます。左右とも同じようにしてください。



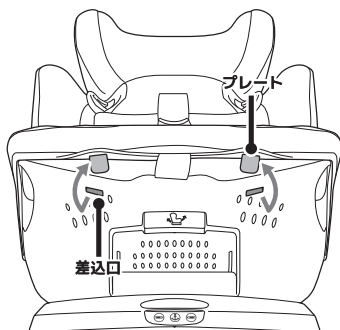
06

シートの背もたれ部上下中央あたりでカバーを留めている①左右のスナップボタンを外して②腰ベルトを抜いておきます。



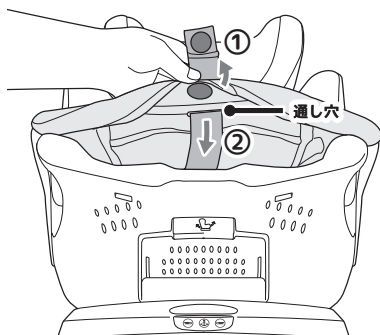
07

シートの前端部左右の差込口に差し込まれているシートカバーのプラスチック製のプレートを抜きます。左右とも抜いてください。



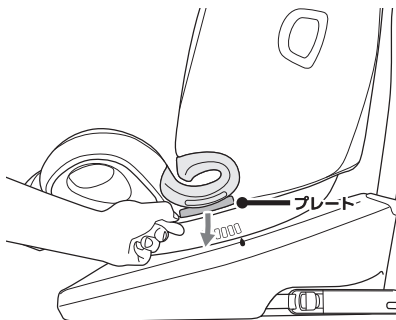
08

そのままシート前端部のカバーをめくって、①アジャストベルトをカバーに留めている面ファスナーを外して、②アジャストベルトをシートカバーの通し穴から抜き取ります。



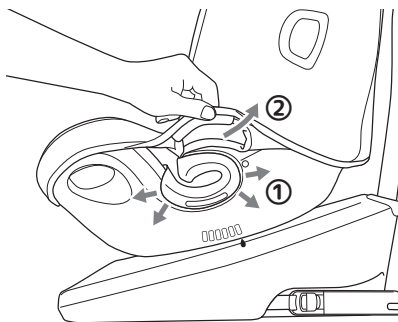
09

腰ベルトガイドの下側で腰ベルトガイドの内側に差し込まれている、カバーのプレートをシートのカバーをつまんで下方向に引き抜きます。左右とも同じようにして引き抜いてください。



10

①腰ベルトガイドの周囲にたくし込まれているカバーの縁を抜いて、②腰ベルトガイドからカバーを抜きます。左右とも同じようにして抜いてください。




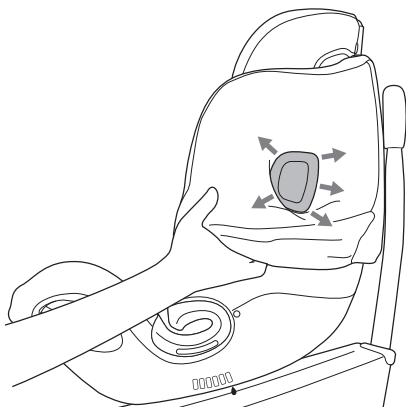
 **ポイント!**

カバーの縁の取り外しはきつめです。取り付けなおす際はご注意ください。

11

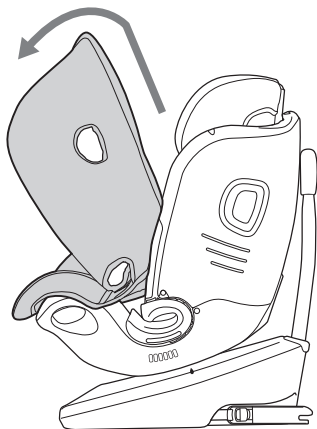
サイドインパクトプロテクションの取り付け部の周囲にたくし込まれているカバーの縁を外して、取り付け部からカバーを抜きます。左右とも同じようにして抜いてください。

 **ポイント!**
カバーの縁の取り外しはきつめです。取り付けなおす際はご注意ください。



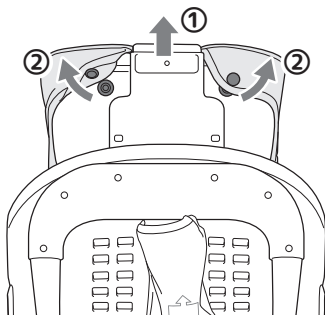
12

シートのカバーを引き上げて、前方に向かって取り外します。



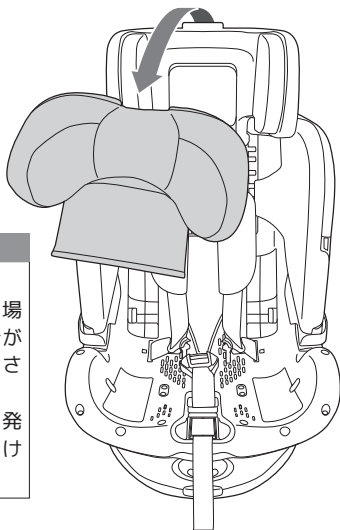
13

①ヘッドサポートを高い位置に調節して、②ヘッドサポートのカバーを背面で留めているスナップボタン（2カ所）を外します。



14

ヘッドサポートのカバーをゆっくりと前方向に取り外します。



⚠注意


衝撃吸収材に注意してください

カバーが引っかかった感じがする場合、無理をせず、引っかかった場所がないかを確認するようにしてください。

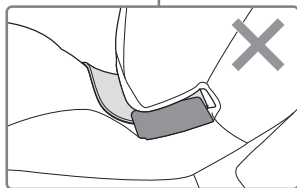
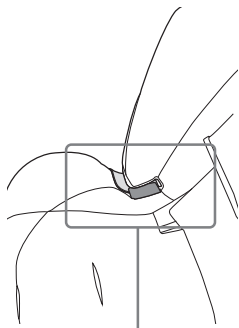
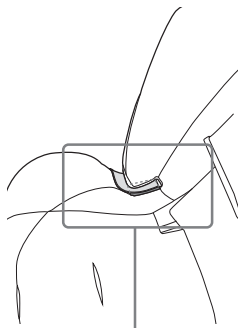
ヘッドサポートに取り付けてある、発泡ウレタン等の衝撃吸収材に傷をつけないように注意してください。

カバーの取り付け

カバー類（シート・ヘッドサポート）の取り付けは、それぞれ取り外しの逆の手順で行ってください。

 **ポイント!**

シートカバーの取り付け時、左右の腰ベルトガイド部を確認してください。シートカバーのプラスチックのプレートが、腰ベルトガイドの上側になってしまっている場合は、腰ベルトガイドの下側にプレートを差し入れてください。左右とも同じように確認して、プレートを差し入れてください。



カバー類・インファントインサートのお手入れ

取り外したシート、ヘッドサポートのカバーとインファントインサートは、以下の表示に従ってお手入れしてください。

⚠注意

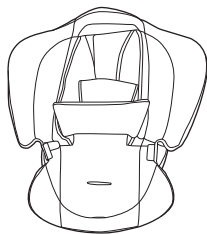
指定外の方法で洗濯しないこと

指定外の方法で洗うと、破損や破れ、型崩れ、縮みの原因になります。

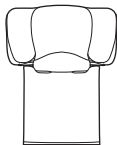
👉ポイント!

汚れがひどい場合には、薄めた中性洗剤を使用してください。洗剤を使用した場合、水でよくすすぎ、洗剤を完全に落としてください。

洗濯機で洗濯可能



シートカバー

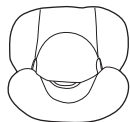


ヘッドサポートカバー

インファントインサート



ヘッドパッド



ボディポジション

① 液温 30℃を限度に、洗濯機で洗うことができます（手洗いをお勧めします）

洗濯機の容量、機種によっては、脱水機能使用時に、重量の偏りにより洗濯機が故障するおそれがあります。脱水時に偏りが発生した場合などは、**30℃以下の水温で手洗いしてください。**

また、ヘッドサポートのフラップ部が変形するおそれがありますので、フラップ部に力が掛からないようご注意ください。

② 漂白剤は使用しないでください

劣化を早め、変退色、破損の原因となりますので、塩素系、酸素系の漂白剤は使用しないでください。

③ タンブラー乾燥をしないでください

破損、損傷、縮みの原因となりますので、タンブラー乾燥（乾燥機）は使用しないでください。

④ 陰干ししてください

型崩れしないようしっかりと開いて日陰で吊り干ししてください。

⑤ アイロンは使用しないでください

破損、縮み、溶けの原因となります。

⑥ ドライクリーニングしないでください

変色、破損、縮みの原因となります。商業クリーニング、ドライクリーニングは避けてください。

⑦ 固定可能なホックボタン、面ファスナーは留めてください

生地を傷つけるおそれがあります。固定できない場合は布で覆うなどしてください。

⚠注意

原液の中性洗剤、有機溶剤を使用しないでください

未希釈の中性洗剤、ガソリン、シンナーなどは使用しないでください。変質、溶解、破損、損傷のおそれがあります。

きつく絞らないでください

型崩れ、変形の原因となります。

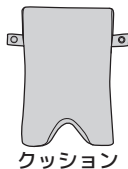
水洗いできません

インファントインサートのクッションは、洗濯機や水に浸けて洗うことはできません。

お湯または水につけて、きつく絞った柔らかい布で汚れを拭きとってください。

食べかすなど油分を含む汚れを落とす場合には、薄めた中性洗剤を溶かした水につけ、良く絞った柔らかいタオルで汚れをふき取るようにしてお手入れしてください。中性洗剤を使用した場合、お手入れ後は洗剤をよくふき取ってください。

インファントインサート



クッション

⚠注意

原液の中性洗剤、有機溶剤を使用しないでください

未希釈の中性洗剤、ガソリン、シンナーなどは使用しないでください。変質、溶解、破損、損傷のおそれがあります。

きつく絞らないでください

型崩れ、変形の原因となります。

お手入れ後の取り付け

カバー類、インファントインサートはよく乾かしてから取り付けしてください。

本体（ベース・シート）のお手入れ

危険

潤滑剤を絶対に使用しないこと

お手入れ、メンテナンス時にシリコンオイル、グリース、ミシン油などの潤滑剤を絶対に使用しないでください。

潤滑剤が付着すると本製品が変質、破損したり、安全に機能しなくなったりするおそれがあります。

樹脂部分・衝撃吸収材

01

表面の汚れは、お湯または水につけて、きつく絞った柔らかい布で汚れを拭きとってください。衝撃吸収材は特にやさしくお手入れしてください。

洗剤類は使用しないでください。内部や、手の届かない場所のお手入れは、市販のエアダスターを使用するか、掃除機を使用してゴミやほこりを吸い取るようにしてください。

注意

洗剤類、ウエットタオルは使用しないでください

洗剤類、市販のウエットタオル（ウエットティッシュ）、赤ちゃんのお尻ふき、などは使用しないでください。含まれる成分によって、樹脂や衝撃吸収材に影響を与えるおそれがあります。劣化、変質、溶解の原因になる可能性があります。

金属部分

01

金属部分は、お湯または水につけて、きつく絞った柔らかい布で汚れを拭きとってください。

食べかすなど油分を含む汚れを落とす場合には、薄めた中性洗剤を溶かした水につけ、良く絞った柔らかいタオルで汚れをふき取るようにしてお手入れしてください。中性洗剤を使用した場合、お手入れ後は洗剤をよくふき取ってください。



危険

水を直接かけないでください

サビが発生し、本製品が正常に機能しなくなるおそれがあります。
水分を使用してお手入れした場合は、しっかりと乾燥させてください。

ISOFIX コネクター・トップテザー

ISOFIX コネクター、トップテザー、自動車の ISOFIX 固定装置とトップテザーアンカーは常に清潔を保つようにしてください。

01

表面の汚れは、お湯または水につけて、きつく絞った柔らかい布で汚れを拭きとってください。洗剤類は使用しないでください。内部や、手の届かない場所のお手入れは、市販のエアダスターを使用するか、掃除機を使用してゴミやほこりを吸い取るようにしてください。



危険

水を直接かけないでください

サビが発生し、本製品が正常に機能しなくなるおそれがあります。
水分を使用してお手入れした場合は、しっかりと乾燥させてください。

潤滑剤を絶対に使用しないこと

お手入れ、メンテナンス時にシリコンオイル、グリース、ミシン油などの潤滑剤や、その他潤滑性のある物質を含む洗剤等を絶対に使用しないでください。潤滑剤に限らず潤滑性のある洗剤等の物質が付着すると ISOFIX による固定に影響を与え思わぬ事故につながるおそれがあります。

除菌・抗ウイルス製品の使用にあたっての注意

除菌・抗ウイルスのスプレー、ミスト、ジェル等の製品には、本製品の縫製品、樹脂、金属に影響を与える成分が含まれている可能性があります。本製品に対する使用にあたっては、あらかじめこれらの製品のメーカーにお問い合わせの上、影響の有無に付きご確認ください。

保管のしかた

長期間ご使用にならない場合は、自動車から取り外しておいてください。

直射日光を避けて、寒暖差および湿気の少ない室内のお子さまの手の届かない場所で保管してください。

雨風のアたる場所、露天では保管しないでください。

廃棄のしかた

本製品を廃棄する際には、お住まいの自治体の指示に従い、正しく廃棄するようになしてください。

また、再利用による事故を防ぐため「廃棄品」と明示しシートを破るなどして、再利用を不可能な状態にして廃棄するようお願いいたします。

保証書

保証期間	お買い上げ日より1年間		
製品名	ジョイ・チャイルドシート アイ・スピン マルチウェイ		
お買い上げ日			
お客様	ご住所	お買い上げ 販売店名	店名
	〒		住所
	お名前		電話番号
	電話番号	-	-

本製品の保証は、規定の内容に従いお買い上げ日から1年間有効となります。お買い上げ日やお買い上げ日やご購入いただいた販売店名が不明の場合保証の対象となりませんので、お買い上げいただいた際のレシートや領収書等を本取扱説明書と一緒に保管するようになさってください。

- 保証期間中に正常な使用状態において、万が一故障が発生した場合には無償で修理いたします。ただし、ご購入時の初期不良の場合を除いて、修理に要する送料はお客様にご負担いただきます。
- 保証期間内であっても次のような場合には、有償での修理となります。
 - ・本保証書原本の提示がない場合（コピーされた保証書は無効です）および記入事項の字句に書き換えが認められる場合
 - ・お客様のご購入を証明することができない場合
 - ・本取扱説明書および製品本体に表記されている指示内容に従わなかったために生じた故障、破損、不良の場合

- ・ 正常な使用、お手入れにより生じた傷や汚損、破損、日焼けによる表面の劣化、シートカバー類等縫製製品のほつれの場合
- ・ 部品の紛失の場合

3. 次のような場合には、安全のため、保証期間、有償、無償に関わらず修理することができません。

- ・ 事故や落下などの強い衝撃を受けたことにより生じた故障、破損、汚損の場合
 - ・ 誤使用、または改造、不当な分解によって生じた故障、破損、汚損の場合
 - ・ 本保証書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記載のない場合
 - ・ 並行輸入品や海外で購入された製品の場合
 - ・ 業務用、レンタル等、一般家庭外で使用されている場合
 - ・ 中古品の場合
 - ・ 本製品に貼り付けられているシール類がはがされている場合
 - ・ 本製品の製造が終了し、修理に必要な部品が無い場合
4. 本製品を正しく使用することにより生じた、自動車の座席表面やシートの傷、取り付けあと等は保証いたしかねます。
5. 一度でもご使用になった製品のお取り換えはできません。
6. 保証は日本国内においてのみ有効です。

本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

※製品は万全を期して製造しておりますが、万が一不都合な点がございましたら弊社お客様サービスまでお問い合わせください。

※性能向上のため、予告なく仕様を変更する場合があります。

※本書に記載いただいた個人情報につきましては、個人情報保護法の規定を準拠し、本保証に関する範囲においてのみ使用いたします。

(本製品に関するお問い合わせ先)

株式会社カトーシ お客様サービス

電話：0568-67-5701 平日10~17時（土日祝日を除く）

www.katoji.co.jp

(Joie日本総代理店)

株式会社カトーシ 〒484-0894 愛知県犬山市羽黒北金屋39-2

シート等を貼り付けてください

Allison Baby UK Ltd,
Venture Point, Towers Business Park
Rugeley, Staffordshire, WS15 1UZ

Joie™

bring the kids™
Share the joy at joiebaby.com

2401V02